

平成27年度使用

小 学 校 教 科 用 図 書
小・中学校特別支援学級及び
特別支援学校（小・中学部）教科用図書

採 択 基 準

選 定 資 料

平成26年6月

奈良県教育委員会

平成27年度使用小学校教科用図書
小・中学校特別支援学級及び特別
支援学校（小・中学部）教科用図書
採 択 基 準

1 市町村立小学校で使用する検定教科書の採択

(1) 採択に当たって

ア 市町村教育委員会はその責任の下に、採択の方針、手順等を明確にし、採択事務の適正化を図ること。

イ 奈良県教育委員会の行う指導及び助言又は援助に基づいて行うこと。

ウ 採択地区に二つ以上の町村がある場合には、構成町村の教育委員会が共同して、採択のための協議会（以下「採択地区協議会」という。）を組織すること。

エ 各採択地区においては、選定のための委員会（以下「選定委員会」という。）を組織すること。

(2) 採択を適正かつ公正に行うため

ア 教科の目標や内容、児童生徒や地域の実態等を考慮し、市町村教育委員会の判断と責任により、最も適切なものを採択すること。

イ 採択決定に当たっては、おおむね次の経過をたどることとし、その方法や手続きを工夫すること。

① 選定委員会は、教科書に関する調査研究を行う際には、平成26年度に県教育委員会の示す選定資料を十分参考にすること。

② 市町村教育委員会は、種目ごとに1種の教科書を採択すること。

③ 採択地区協議会は、種目ごとに1種の教科書を選定すること。また、採択地区協議会を構成する町村の教育委員会は、その採択地区協議会において選定された教科書を採択すること。

2 国立・私立の小学校で使用する検定教科書の採択

採択に当たっては、その適正かつ公正を期すため、各学校長の責任において次の手続

きによるものとする。

- (1) 教科書に関する調査研究を行う際には、平成26年度に県教育委員会の示す選定資料を十分参考にすること。
- (2) 調査研究の結果等に基づき、種目ごとに1種の教科書を採択すること。

3 小・中学校特別支援学級及び特別支援学校（小・中学部）において使用する教科用図書 書の採択

(1) 検定教科書の採択について

小・中学校特別支援学級において使用する検定教科書の採択については、当該採択地区（国立・私立にあっては各学校）で採択されている検定教科書と同一のものを、特別支援学校（中学部）において使用する検定教科書の採択については、前年度と同一のものを採択すること。なお、教科により当該学年用の検定教科書を使用することが適当でない場合には、下学年用の検定教科書を採択すること。

下学年用の検定教科書を採択する場合は、小・中学校特別支援学級においては当該採択地区（国立・私立にあっては各学校）で採択されている検定教科書と同一のものを、特別支援学校（中学部）においては前年度採択されている教科用図書と同一のものを採択すること。

(2) 学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について

特別の教育課程を編成し、教科により当該学年用の検定教科書を使用することが適当でない場合には、学校教育法附則第9条の規定により、他の適切な教科用図書を採択すること。採択に当たっては、県教育委員会の示す選定資料を参考にして十分な調査研究を行い、適正かつ公正に行うこと。

ア 特別支援学校知的障害者用の文部科学省著作教科書のある教科は、なるべくこれを採択すること。

イ 検定教科書及び著作教科書以外の図書を採択する場合は、内容を検討した上、絶版についても確認し、特に慎重を期して採択すること。

なお、特別支援学校（小・中学部）においては、「採択」を「選定」と読み替えるものとし、採択は県教育委員会が行う。

国語

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数										教材・資料等の分量							使用上の便宜・編集上の工夫等
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化	国語の特質	複合	単元の導入	資料	その他	前学年の漢字の書き取りの数	さし絵のあるページ	写真の数	図表・グラフの数	紹介されている本の冊数	古典の作品数	注記の数	学習活動への手立て	
2 東書	1年	26	35	125	4	42	0	5	69	10	-	254	115	70	85	1	6	22	<ul style="list-style-type: none"> ・1～4年は上下巻の2分冊、5～6年は1冊である。折込を設け、2年以上の内容を折込している。 ・単元「元力」として示している。 ・人物の支那語を付している。 ・習字や漢字の練習を付している。 ・漢字や読みを掲載している。 ・新出漢字や読みを掲載している。
	2年	28	43	118	15	25	0	9	94	24	106	248	147	77	105	4	79	55	
	3年	23	41	124	17	31	0	9	103	24	144	204	181	111	96	2	90	52	
	4年	24	39	131	17	25	0	9	95	24	198	208	197	80	96	2	91	53	
	5年	16	28	118	14	18	16	9	69	14	185	139	223	81	105	6	78	40	
	6年	13	25	109	12	18	16	9	78	14	188	130	146	55	83	10	74	41	
11 学図	1年	24	28	99	6	42	8	0	48	9	-	185	80	44	30	2	7	13	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年上下巻の2分冊である。 ・巻末に「保護者の方へ」を設けている。 ・単元のはじめに「この単元の学習の流れ」を示している。 ・直接書き込みのできる教材がある。 ・巻末の資料に、学習に必要な用語をまとめて解説した「授業で使う言葉」がある。
	2年	14	22	103	8	50	6	1	82	8	86	182	85	63	46	2	24	15	
	3年	16	18	89	6	59	16	1	83	12	175	171	102	61	46	1	31	12	
	4年	16	16	105	10	50	22	1	80	14	221	153	114	54	47	1	26	13	
	5年	16	18	120	16	55	8	1	92	12	209	138	105	51	51	5	19	16	
	6年	16	42	102	10	47	0	1	110	12	192	120	111	52	58	2	73	12	

国 語

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数										教材・資料等の分量							使用上の便宜・編集上の工夫等
		総ページ	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化	国語の特質	複答	単元の導入	資料	その他	前学年の漢字の書き取りの教	さし絵のあるページ	写真の教	図表・グラフの教	紹介されている本の冊数	古典の作品数	注記の教	
1年	38	276	30	14	136	10	56	0	1	22	7	-	237	61	37	27	3	0	8
		280	20	33	132	5	38	0	2	40	10	88	203	96	53	77	3	7	53
		296	22	28	133	15	30	0	2	52	14	182	156	143	76	82	4	58	49
		302	24	30	134	16	26	0	2	56	14	213	159	111	77	83	6	43	68
		286	12	21	134	19	26	9	1	55	9	213	123	137	69	66	9	52	60
		286	14	19	129	26	24	15	1	49	9	199	102	168	64	67	3	73	58

・1～4年は上下巻の2分冊、5～6年は1冊である。教科書名にちなんで詩を掲載している。冒頭に活動の流れやめあてを設けている。単元未だにツッパ注の注記は変え、ゴックン体で示している。

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
<p>2 東書</p>	<p>○学習の進め方 ・単元で付けた力を単元冒頭に示し、学習活動の振り返りを行う「言葉の力」を単元末に設定している。 ・論理的思考に関わる教材や学習活動を学年段階に応じて設け、単元冒頭に具体的な手立てを示している。</p> <p>○「言語活動例」の取扱い ・各領域とも学習指導要領に示された言語活動例に基づき、付けた力に即した言語活動を通して学ぶことができ、付けた力を系統的に配列している。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関することについて ・「日本の言の葉」「日本語のしらべ」として、伝統的な言語文化を取り上げた単元を設けている。 ・「漢字の練習」「言葉」「言葉の広場」を設け、漢字や言葉、文型等の習得や定着、活用を図っている。</p>	<p>○読書活動の充実を図るための工夫 ・「本は友達」「〇年生の本棚」「こんな本もいっしょに」や、著名人による読書についての文章のコナーがあり、目的や課題に応じた読書活動の例を示している。</p> <p>○情報教育の充実を図るための工夫 ・広告や新聞記事等のメディアを教材として取り上げ、情報の選択や比較について学ぶとともに、5・6年では情報を活用して課題解決を図る複合単元を設定している。</p> <p>○その他 ・既習の「言葉の力」の活用を促すための「つながる」欄や、他教科の学習や実生活に活用するための「ひろがる」欄を設けている。 ・日常的なコミュニケーション能力を育てるための「生活の中」の言葉」を設けている。</p>
<p>11 学図</p>	<p>○学習の進め方 ・「学習のてびき」によって学習の流れを図示し、言語活動の展開の手順や方法を示している。 ・「国語のカギ」で、言語活動の知識や技能をまとめて提示し、「読むために書く」で演習の場面を設定している。</p> <p>○「言語活動例」の取扱い ・学習指導要領に示された言語活動例に基づき、図表や絵、写真やグラフ等を用いた学習活動を設定している。 ・各学年上巻に、「学級作り」のページを設け、言葉を用いた学習活動の例を示している。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関することについて ・伝統的な言語文化に関して、声に出して読む言語活動が設定できる教材を各学年に設けている。 ・「言葉の泉」「言葉のきまり」「漢字の部屋」「言葉で遊ぼう」</p>	<p>う」などのページを設けている。</p> <p>○読書活動の充実を図るための工夫 ・「読書を楽しもう」「読書を広げよう」の単元を設け、読書の仕方などの例などを示している。 ・「読書の部屋」で、本の表紙とともにあらすじを示すほか、本の紹介カードの例を掲載している。</p> <p>○情報教育の充実を図るための工夫 ・メディアリテラシーについて考える教材がある。 ・複数の情報を比較して考えたり、必要な情報を整理してまとめた教材がある。</p> <p>○その他 ・巻末資料に学習用語に関するページや、学習活動の振り返りやまとめを行う「国語のカギ」のページがある。</p>

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>15 三省堂</p>	<p>○学習の進め方 ・「読むこと」の単元において、学習のねらいを達成するために、学習の流れを示している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各単元を、各学年の系統性を考慮して設定している。</p> <p>○「言語活動例」の取扱い ・『小学生の国語』で、領域のバランスを考慮し、学習指導要領に示された言語活動例に基づいた教材を、系統的に配列している。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関することについて ・音読・暗唱を学習の中心に据えた教材と、各領域の学習に関連付けた教材がある。 ・2年以上の各巻では、学習の前に新出漢字を確認できるように、「新しい漢字を学ぼう」を設定している。</p>
<p>17 教出</p>	<p>○読書活動の充実を図るための工夫 ・掲示板や推薦会、発表会など、読んだ本について紹介する学習活動を設定している。 ・「読むこと」の学習に関連した本を「本を読もう」で紹介し、巻末折込で推薦図書をジャンル別に例示している。</p> <p>○情報教育の充実を図るための工夫 ・高学年で、情報収集や情報活用に関する単元を設定している。付録の「電子メールで伝え合う」では、活用方法や情報モラルについて示している。</p> <p>○その他 ・付録中の「この本で学ぶこと」では、領域別に単元を整理して示している。 ・各学年の下巻に、その学年の学習を振り返るための「国語の学習 これまで」を設定している。</p>

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>38 光村</p>	<p>○学習の進め方 ・3年以上の各巻において、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元の冒頭で学習の流れを図示している。 ・2年以上の各巻において、単元で付けたたい力として単元末に「たいせつ」を設定している。巻末には領域ごとに一覧できる『たいせつ』のまとめ」を設けている。</p> <p>○「言語活動例」の取扱い ・各領域とも学習指導要領に示された言語活動例に基づき、それぞれの学年で繰り返して学習できるよう教材を配置している。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関することについて ・民話や昔話の読み聞かせ教材を全学年に配当し、3年以上は、短歌・俳句、古文・漢文の教材を示している。 ・2年以上の上巻と5・6年の巻末に、語彙を豊かにする</p>
	<p>資料として「言葉の宝箱」を設けている。</p> <p>○読書活動の充実を図るための工夫 ・「この本、読もう」を設け、教材未では教材と関連した本を、巻末の付録では各学年に応じた本を、表紙に内容を添えて紹介している。 ・本や読書生活について考える単元「本は友達」を各学年に設けている。</p> <p>○情報教育の充実を図るための工夫 ・「読むこと」「書くこと」の教材で、情報の活用を題材に取り上げている。</p> <p>○その他 ・付録に、学年に応じ「学習に用いる言葉」のページや、「読むこと」の補助的な資料を取めている。</p>

国語科（書写）

項目	発行者の 番号・略称	総ページ		内容別配当ページ数						教材・資料等の分量					使用上の便宜・編集上の工夫等	
		硬筆教材	毛筆教材（太筆）	毛筆教材（小筆）	実用書式	関連の 教材・領域との	毛筆教材の文字総数	原寸大手本数	横書き教材数	筆記具使用の写真等数	発展教材の有無※					
2 東書		1年	44	27		6	15		4	15		4	13	無	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5変型判（横幅が28mm広い）である。 ・ 毛筆教材の左側に学習事項のインデックスを設けて、当該の毛筆教材に含まれる既習事項と参照ページが記されている。（3～6年） ・ 「広げよう」では、学習した原理・原則をほかの文字で応用できるように、硬筆で記入ができる形式になっている。（4～6年） ・ 学習内容の確認ができるよう、学習内容を巻末に示している。 ・ 学習の成果を確認できるよう、巻頭折込に学年当初と学年末に自分の名前を並べて記入する欄があり、比較することができる。（1・2年） ・ 発展教材（6年：硬筆で「朝・花」の行書体をなぞって書く。） 	
		2年	44	26		11	17		4	13		4	13	無		
		3年	50	6	22	6	5	14	18	1	4	10				
		4年	50	5	23	6	5	15	24	2	3	11				
		5年	50	6	17	7	10	19	39	2	5	14				無
		6年	50	6	17	7	9	20	52	2	3	10				有
11 学図		1年	42	31		5	13			7		2	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に学習する方法が理解できるように、学習の仕方について、1～3年では2ページ、4～6年では3ページにわたって、学習方法を図や写真を用いて具体的に示している。（17例） ・ 原寸大の毛筆教材を多く示している。（17例） ・ 硬筆と毛筆の関連を意識付けるため、漢字の一覧表を硬筆と毛筆で示している。（3～6年） ・ 裏表紙で保護者向けに学習内容を一覧表で示している。 ・ 「まとめ」で一人一人が習熟度や課題に応じて自ら教材を選択できるよう、毛筆の課題選択教材を示している。（3～6年） ・ 1・2年で、自己評価欄に貼る「できたかなシール」がある。 ・ 発展教材（6年：太筆を用いて「青空」を行書体で書く。） 	
		2年	42	30		6	14			10		3	10	無		
		3年	50	9	24	6	11		21	4	6	12				
		4年	46	10	22	5	8		22	5	4	9				
		5年	46	5	21	11	3	14	32	5	3	8				無
		6年	42	3	24	6	1	10	74	5	1	9				有

※発展教材の有無…2年では、3年からの毛筆教材を取り上げているか、5・6年では、中学校からの行書学習を取り上げているかを示している。

国語科（書写）

項目	総ページ		内容別相当ページ数						教材・資料等の分量				
	1年	2年	硬筆教材	毛筆教材（太筆）	毛筆教材（小筆）	実用書式	関連の 教科・領域との	毛筆教材の文字総数	原寸大手本数	横書き教材数	筆記具使用の写真等数	発展教材の有無※	
15 三省堂	1年	40	32			5	8			3	6		
	2年	40	29			8	13			7	5	無	
	3年	44	2	28	8	5	10	16	2	0	14		
	4年	44	5	27	8	6	10	28	2	1	8		
	5年	44	6	14	11	17	21	39	2	9	8	無	
	6年	44	5	17	9	11	17	31	2	9	10	有	
17 教出	1年	46	31			7	15			4	13		
	2年	42	24			11	21			5	12	有	
	3年	60	11	22	8	10	20	17	2	3	15		
	4年	58	13	22	8	10	19	20	2	3	15		
	5年	50	6	22	7	8	21	27	2	5	13	有	
	6年	50	6	19	9	12	25	47	2	2	11	有	

使用上の便宜・編集上の工夫等

・学習内容を確認できるよう、3～6年では「考えよう」として、字形の整え方や筆順等を質問形式で示している。また、5・6年では、はじめに適切な書き方を考えた上で硬筆と毛筆で確認する手順になっている。

・手本を指でなぞることができるよう、字を大きく示している。(1年)

・硬筆で書き込みめる欄が多く、学習内容を書いて確かめることができる。

・文字の形や配列等について、正しく整えられていない例を示して考える活動につなげている。

・発展教材（6年：「分・戸・空・月」を用いて行書体の説明をしている。）

・主体的に学習を進めるために、各単元で「考えよう」として課題を質問形式で示している。(3～6年)

・巻末で1年間の学習内容を振り返ることができるように、学習したことを生かして書く教材を示している。

・巻末で、「書いて伝えよう」として、招待状、新聞、ポスター、色紙の寄せ書きや文集の書き方を示している。

・巻末で点画の書き方を「しよしよのたいそう」として示している。

・手本を指でなぞることができるよう、字を大きく示している。(1年)

・硬筆教材や実用書式では、関連する教科名を示している。

・発展教材（5年：「三・林・大」で行書体を紹介。6年：「春」を用いて行書体の説明をし、「春・中学校」を行書体で記入する。）

※発展教材の有無…2年では、3年からの毛筆教材を取り上げているか、5・6年では、中学校からの行書学習を取り上げているかを示している。

国語科（書写）

項目	総ページ		内容別配当ページ数				教材・資料等の分量				使用上の便宜・編集上の工夫等			
	1年	2年	硬筆教材	毛筆教材（太筆）	毛筆教材（小筆）	実用書式	関連の教科・領域との	毛筆教材の文字総数	原寸大手本数	横書き教材数		筆記具使用の写真等数	発展教材の有無※	
38 光村	1年	40	30			6	12			3	9		<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習する方法が理解できるよう、「学習の進め方」を示している。(4～6年) ・巻末で1年間の学習内容を振り返ることができるように、学習したことを生かして書く教材を示している。 ・硬筆と毛筆の関連を意識付けるため、漢字表を硬筆と毛筆で示している。(3～6年) ・弱粘性シールにより、「かまえ」や「たれ」と中の部分といたった漢字の部分の組立て方を試行錯誤を通して理解できるようにしている。(4年) ・発展教材（5年：速書きの際の筆順の変化を示している。6年：硬筆で「春・和・絵」を行書体で書く。） 	
	2年	38	28			6	11			2	14	無		
	3年	56	7	27	7	7	14	14	18	2	3	15		
	4年	52	6	21	6	9	16	16	19	2	2	13		
	5年	48	9	16	6	10	22	22	20	2	5	13		有
	6年	50	9	15	12	12	25	25	42	2	6	14		有
116 日文	1年	44	31			8	15			2	11		<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習する方法が理解できるよう、「学習のすすめ方」を示している。(5・6年) ・各単元で「考える・たしかめる・書いてみる（1・2年）」、「考える・確かめる・いかす（3～6年）」のステップを示している。 ・半紙を横長に使う毛筆教材を示している。(3・5年) ・「まとめ」で1年間の学習内容を振り返ることができるように、学習したことを生かして書く教材を示している。(全学年) ・毛筆教材のいくつかには、主教材の他に副教材を示している。(4～6年) ・発展教材（5年：「読書」を楷書と行書で点面の違いを比較する。6年：硬筆を用いて俳句を行書体で書く。） 	
	2年	44	28			10	15			4	11	有		
	3年	56	11	27	7	8	13	13	19	2	4	13		
	4年	56	8	27	6	11	16	16	26	2	4	10		
	5年	56	9	24	6	8	20	20	34	2	3	9		有
	6年	56	4	20	9	7	26	26	56	2	2	10		有

※発展教材の有無…2年では、3年からの毛筆教材を取り上げているか、5・6年では、中学校からの行書学習を取り上げているかを示している。

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
2	<p>○姿勢、筆記具 (選択を含む) ・姿勢等の写真と合言葉を示している。 ・筆記具の特徴の理解を容易にするため、様々な筆記具で書かれた文字を示している。</p> <p>○字形、組立て ・字形の特徴の理解を容易にするため、外形で分類した例を多数示している。</p> <p>○用紙全体との関係、文字の大きさと配列 ・「字配り」を「配列」に改めた。 ・「配列」を太筆と細筆に分けて解説している。</p> <p>○穂先の動き、筆圧、点画のつながり ・穂先の通り道の理解を容易にするため、朱墨と薄墨の2色で点画を示している。</p> <p>・点画の筆圧やリズムを擬音語で示している。 ・点画のつながりの理解を容易にするため、穂先の動きを細線で示している。</p>
11	<p>○姿勢、筆記具 (選択を含む) ・姿勢等の写真と合言葉を示している。 ・目的や状況に合わせた筆記具の活用方法の理解を容易にするため、様々な筆記具による線の違いを示している。</p> <p>○字形、組立て ・点画の始筆・終筆の位置の理解を容易にするため、1マスを4分割して各マスに名称を示している。</p> <p>・字形の特徴の理解を容易にするため、文字の外形を色分けして示している。</p> <p>○用紙全体との関係、文字の大きさと配列 ・半紙に2行を書く教材では、名前のスペースを設けている。</p> <p>○穂先の動き、筆圧、点画のつながり ・穂先の通り道の理解を容易にするため、朱墨と薄墨の2色で点画を示している。</p> <p>・点画のつながりの理解を容易にするため、穂先の動きを細線で示している。</p>

○日常生活や学習活動に生かす工夫
 ・日記、観察カード、手紙、模造紙、グラフ等を示している。
 ○毛筆教材で取り扱っている文字 (下線は原寸大、[] は選択、◇は小筆教材)
 ・3年：一、二、下、日、大、小、つり、水、〈三年〉、正月、お正月(1/8)、[思いやり(1/8)]
 ・4年：羊、麦、左右、土地、竹笛、わた、〈四年〉、天空、手話、美しい空(1/8)、[学問の力(1/8)]
 ・5年：道、成長、文庫、きずな、〈落ち葉たくけむりまとひとひて人きたる〉、星ふる夜、〈五年〉、出発、新春の光(1/8)、[晴れた朝(1/8)]
 ・6年：湖、牧場、豊かな心、ふれあい、〈追い求めているうちに、不意に夢は実現するものだ。[海のいのち]より〉、〈六年〉、希望、固い友情、伝統を守る(1/8)、[未来の夢(1/8)]
 ○その他
 ・穂先の向きをイラストや写真で示している。
 ・俳句、和歌、漢詩等を硬筆で書く教材が、全学年である。

○日常生活や学習活動に生かす工夫
 ・手紙、はがき、短歌、随筆、ポスター等を示している。
 ○毛筆教材で取り扱っている文字 (下線は原寸大、[] は選択、◇は小筆教材)
 ・3年：十、日、人、力、〈三年〉、ピル、かり、山里、水玉、お正月(1/8)、[赤白、大木、日光]
 ・4年：友、〈四年〉、左右、明星、家、ます、元気、成長、美しい心(1/8)、[星空、大地、代表]
 ・5年：道、あこがれ、〈五年〉、旅行、飛ぶ、考える子、明るい街、大切な命(1/8)、[希望、伝統文化、雪ふる夜]
 ・6年：風、〈六年〉、一〜十、あ〜お、くしづかさや岩にしみ入るせみの声、久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ、発屋、思いやり、実りの秋、希望の春、創造、[友情、卒業、旅立ち、感謝の心]、夢の実現(1/8)、青空(行書)
 ○その他
 ・穂先の向きを三角定規のイラストや写真で示している。
 ・俳句、短歌、文語詩等を硬筆で書く教材が3年以上である。

国語科 (書写)

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>15</p> <p>三省堂</p>	<p>○姿勢、筆記具 (選択を含む) ・姿勢等の写真と合言葉を示している。 ・目的に応じた使用方の理解を容易にするため、様々な筆記具を紹介している。</p> <p>○字形、組立て ・字形や文字の組立て方の理解を容易にするため、外形を点線で示し、偏旁や中心線を色分けして示している。 ○用紙全体との関係、文字の大きさと配列 ・書く速さによって配列が変化し、読みやすさが変わることを示している。(6年)</p> <p>○穂先の動き、筆圧、点画のつながり ・穂先の通り道の理解を容易にするため、朱墨と薄墨の2色で点画を示している。 ・点画のつながりと書く速さを関連付けて説明している。 ・初めて学習する点画は、大きく、連続写真や穂先のイラストを用いて詳しく示している。(3・4年)</p>
<p>17</p> <p>教出</p>	<p>○姿勢、筆記具 (選択を含む) ・姿勢等の写真と合言葉を示している。 ・裏表紙に鉛筆、筆の持ち方の写真を掲載している。</p> <p>○字形、組立て ・字形や文字の組立て方の理解を容易にするため、外形や偏旁等を色分けして示している。 ・点画の始筆・終筆の位置の理解を容易にするため、1マスを4分割して各マスに名称を示している。 ○用紙全体との関係、文字の大きさと配列 ・漢字と仮名、漢字と漢字の大きさを考える教材を示している。 ○穂先の動き、筆圧、点画のつながり ・穂先の通り道の理解を容易にするため、朱墨と薄墨の2色で点画を示している。 ・点画のつながりを擬音語で示している。 ・点画のつながりがりの理解を容易にするため、穂先の動きを連続写真と点線で示している。</p>

- 日常生活や学習活動に生かす工夫
 ・手紙、はがき、ポストター、ノートの書き方を示している。
 ○毛筆教材で取り扱っている文字 (下線は原寸大)
 ・3年：二、下、木、月、に、じ、そり、生、文、里、行い、正しい心 (1/8)
 ・4年：水玉、光、式、左右、昼、君、安、黄、はず、土地、岩山、開け、草原、進む、小鳥、明るい春 (1/8)
 ・5年：仲間、新風、知る、笑りの時、時間を大切にすること、みんなで助け合う・友だちの話をよく聞く、不言実行 (色紙)、平和な朝 (1/8)
 ・6年：団結、強い心を持つ、飛ぶ、期待、未来への歩み、卒業式会場、温故知新 (色紙)、夢を語るう (1/8)
 ○その他
 ・穂先の向きをイラストや写真で示している。
 ・筆・墨・硯の作り方や許容体や行書体等、書写や伝統文化に対する関心や理解を深める資料がある。(4・6年)
- 日常生活や学習活動に生かす工夫
 ・手紙、はがき、メモ、竹取物語、枕草子等を示している。
 ○毛筆教材で取り扱っている文字 (下線は原寸大、□は選択、◇は小筆教材)
 ・3年：一二、土、大、力、に、じ、〈三年〉、ビル、光、あこがれ、友だち (1/8) 正月
 ・4年：花、左右、〈四年〉、作文、はず、林、秋、星、元氣、早春、美しい心 (1/8)
 ・5年：土地、道、成長、朝日、登る、自然、あこがれ、〈五年〉、考える子、希望、平和な国 (1/8)
 ・6年：友情、歴史、思いやり、〈六年〉、〈この道や行く人なしに秋の暮〉、旅立ちの時、伝統、夢の実現 (1/8)
 [世界、愛、アジアの仲間、温故知新]
 ○その他
 ・穂先の向きをイラストや写真で示している。
 ・筆の作り方、消しゴム印の作り方等を示している。

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>38</p> <p>光村</p>	<p>○姿勢、筆記具 (選択を含む) ・姿勢等の写真と合言葉を示している。 ・様々な筆記具の特徴を取り上げ、読みやすく書く方法を 示している。(5・6年)</p> <p>○字形、組立て ・字形や文字の組立て方の理解を容易にするため、外形を 点線で囲み、背景や偏旁、中心線を色分けしている。(4 ・点画模型で、文字の部分の組立てを確かめられる。(4 年)</p> <p>○用紙全体との関係、文字の大きさや配列 ・第1画面の位置によって、行の中心等の配列が整う場合 と整わない場合があることを示している。(5・6年)</p> <p>○穂先の動き、筆圧、点画のつながり ・穂先の通り道の理解を容易にするため、朱墨と薄墨の2 ・色で点画を示している。 ・「すう・びた・びん」(1年)、「トン・スーッ・トン」 といった擬音語等で運筆や穂先の向きを示している。</p>
<p>116</p> <p>日文</p>	<p>○姿勢、筆記具 (選択を含む) ・姿勢等の写真と合言葉を示している。 ・目的に応じた筆記具の選択について考える課題を設定し ている。(5・6年)</p> <p>○字形、組立て ・字形や文字の組立て方の理解を容易にするため、外形や 偏旁等を色分けして示している。 ○用紙全体との関係、文字の大きさや配列 ・配列よく書けていない例を示し、配列よく書く方法を考 える教材を示している。(5年)</p> <p>○穂先の動き、筆圧、点画のつながり ・穂先の通り道の理解を容易にするため、朱墨と薄墨の2 ・色で点画を示している。 ・「すうっ・びたっ」(1年)、「トン・スーッ・ピタッ」とい った擬音語等で運筆や穂先の向きを示している。 ○日常生活や学習活動に生かす工夫</p>
<p>○日常生活や学習活動に生かす工夫 ・手紙、新聞、ことわざ、俳句、故事成語等を示している。 ○毛筆教材で取り扱っている文字 (下線は原寸大、<>は小筆 教材) ・3年：二、士、日、木、光、つり、立冬、正月、<三年>、 美しい心 (1/8)、水玉 ・4年：左右、虫、地、雲、はず、白馬、出発、<四年>、流 れる星 (1/8)、知る ・5年：平和、よもぎ、道、飛行、希望、<五年>、進む勇気 (1/8)、近づく春 ・6年：湖、<さみだれをあとめて早し最上川>、ゆり、あけ び、<あけびゆらす秋風>、感謝、<六年>、ゆずり葉、 風花のまう街、<u>新たな決意</u> (1/8)、旅立ちの朝 ○その他 ・穂先の向きをイラストで示している。 ・筆・墨・硯・紙の作り方や書写や伝統文化に対する関心や 理解を深める資料がある。(4～6年)</p>	<p>○日常生活や学習活動に生かす工夫 ・手紙、新聞、ことわざ、俳句、故事成語等を示している。 ○毛筆教材で取り扱っている文字 (下線は原寸大、<>は小筆 教材) ・3年：一、士、日、人、小山、<三年>ビル、心、つり、水玉、 生きる力 (1/8) ・4年：光、麦、[名作]、左右、<四年>、林、岩、はず、白 馬、平和、元氣な子 (1/8) [土地、竹笛、世界] ・5年：花、広野、道、[節進]、あこがれ、成長、<五年>、読心、 読心、実りの秋、出発、美しい空 (1/8) [なでしこ、わらべ歌] ・6年：泉、仲間、湖、飛ぶ、<六年>、夕やけ雲、<名月や 池をめぐりて夜もすがら>、創造、[街、温かい心、友情、 思いやり、永遠、<笑う門には福きたる>、温故知新]、希 望の朝 (1/8) ○その他 ・穂先の動きを言葉や写真で示している。 ・書写や伝統文化に対する関心や理解を深める資料がある。</p>

項目 発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ	内容別配当ページ数										教材・資料等の分量										使用上の便宜・ 編集上の工夫等
		我が国の国土	我が国の産業	我が国の歴史	政治の働き	国際理解	発展的な学習	その他	地図・地球儀	表・グラフ	年表	写真	絵画	文書・図	インタビュー	国旗	コラム	注釈・解説	表現活動例	学習のスキル		
38 光村	5年	82	126				12	9	38	55	3	223	0	80	39	25	9	53	22	15		
	6年			134	28	35	15	21	21	27	21	234	63	92	12	5	14	80	20	10		
116 日文	5年	88	126				10	14	40	82	4	293	0	74	42	19	13	61	24	25		
	6年			156	38	40	14	20	32	37	11	300	93	107	13	5	36	71	40	14		

・ A B判1冊。解決的な
 ・ 巻頭の問題を学ぶ
 ・ 学習につなげる。
 ・ 教科書に書き込める
 ・ 教欄を設けている。
 ・ 各単元での導入に当
 ・ 各載し写真を大きく掲
 ・ 単元の参考となる資
 ・ 料を「今につながる」
 ・ 「地域にひろげる」
 ・ 等に掲載している。

・ A B判上下巻2分冊。
 ・ 振り返りの手順を示
 ・ し、学習した内容を
 ・ 復習する。例示して
 ・ いる。
 ・ 資料などを読み取る
 ・ たポイントや右下に
 ・ 掲載している。
 ・ 「調べる」「読み取る」
 ・ 等のコーナーを設け
 ・ て、学習方法を
 ・ 示している。

	内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
2 東 書	<p>○3・4年道府県の名と位置 ・「日本地図を広げて」という都道府県学習ページを折込で 設けている。(下巻：pp.130-135) ○環境の学習事例 ・環境の学習事例(岐阜県津市、温暖多雨(沖繩島)を日本 ・国土：領土(庄内平野)、水産業(長崎県長崎漁港) ・食料生産：稲作(庄内平野)、水産業(長崎県長崎漁港) ・工業：自動車(豊田)、中小工場(福井県鯖 ・環境：自林保(陽川)、公害(四大公害病、熊本市水俣市の取 る42人、本文中に6人、本文以外に30人) ○歴史の人物 ・例示：上野の人物(上野の人物として取り上げる) ○政治の事例 ・例示：上野の人物(上野の人物として取り上げる) ・環境：自林保(陽川)、公害(四大公害病、熊本市水俣市の取 る42人、本文中に6人、本文以外に30人) ○歴史の人物 ・例示：上野の人物(上野の人物として取り上げる) ○政治の事例 ・例示：上野の人物(上野の人物として取り上げる)</p>	<p>○国際社会について学習できるようにしている。 ○日本と世界の関係について学習できるようにしている。 ○国際連合を取り上げ、国際協力 隊やNGOによる活動について 学習できるようにしている。 ○世界の文化遺産のほか、能や祇園 舞子や文楽などの伝統文化について 学習できるようにしている。 ○「ことば」を提示して、分 類や整理を促している。 ○「ことば」を提示して、分 類や整理を促している。 ○「ことば」を提示して、分 類や整理を促している。 ○「ことば」を提示して、分 類や整理を促している。</p>
17 教 出	<p>○3・4年道府県の名と位置 ・「日本地図を広げて」という都道府県学習ページを折込で 設けている。(下巻：pp.108-109) ○環境の学習事例 ・環境の学習事例(岐阜県津市、温暖多雨(沖繩島)を日本 ・国土：領土(庄内平野)、水産業(長崎県長崎漁港) ・食料生産：稲作(庄内平野)、水産業(長崎県長崎漁港) ・工業：自動車(豊田)、中小工場(福井県鯖 ・環境：自林保(陽川)、公害(四大公害病、熊本市水俣市の取 る42人、本文中に6人、本文以外に30人) ○歴史の人物 ・例示：上野の人物(上野の人物として取り上げる) ○政治の事例 ・例示：上野の人物(上野の人物として取り上げる) ・環境：自林保(陽川)、公害(四大公害病、熊本市水俣市の取 る42人、本文中に6人、本文以外に30人) ○歴史の人物 ・例示：上野の人物(上野の人物として取り上げる) ○政治の事例 ・例示：上野の人物(上野の人物として取り上げる)</p>	<p>○国際社会について学習できるようにしている。 ○日本と世界の関係について学習できるようにしている。 ○国際連合を取り上げ、国際協力 隊やNGOによる活動について 学習できるようにしている。 ○世界の文化遺産のほか、能や祇園 舞子や文楽などの伝統文化について 学習できるようにしている。 ○「ことば」を提示して、分 類や整理を促している。 ○「ことば」を提示して、分 類や整理を促している。 ○「ことば」を提示して、分 類や整理を促している。 ○「ことば」を提示して、分 類や整理を促している。</p>

社会 (地図)

項目	発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ	内容別配当ページ数							教材・資料等の分量				使用上の便宜・ 編集上の工夫等		
			地図の学び方	主題図	基本図						写真資料掲載数	基本図ページにある図や資料			国旗掲載国数	
			日本全図	日本地域図	大都市周辺図	日本周辺図	世界全図	大陸別図	巻末統計資料	索引		主題図数	鳥瞰図数	資料		
2	東書	94	5	25	7	1	5	10	4	10	24	1	0	0	196	<ul style="list-style-type: none"> 文字の色は5色。黒字は地名等、赤字に白の縁取りは都道府県名や国名、赤字は国定公園や主な道路等、紫字は鉄道等、青字は川や海を表している。 歴史的現象は青地に白抜き文字で表し、世界遺産は紫色の記号のみ、ラムサール条約登録湿地は青色の記号のみ、世界ジオパークの登録地は緑色の記号のみで表している。 縮尺は、ものさしで示している。 世界全図では、示された国の国旗を一覧にして掲載している。 地図は淡い色調で、土地や海底の高低差を色分けによって表している。
46	帝国	86	6	19	13	2	5	12	3	6	26	12	13	5	197	<ul style="list-style-type: none"> 文字の色は5色。黒字は地名等、赤字に黒の縁取りは都道府県名や国名、ピンク字は国定公園等、紫字は高速道路等、青字は川や海、主な鉄道を表している。 歴史的現象は青地の白抜き文字、世界遺産は緑地の白抜き文字で表し、文化遺産と自然遺産を記号で区別している。ラムサール条約登録湿地は、記号とともに青字で表している。 縮尺は、数直線で示している。 大陸別図では、大陸別に国旗、世界一周写真館を掲載している。 地図は濃い色調で、土地や海底の高低差を色分けによって表している。

内容の程度・組織・取扱い等の特徴

○構成上の特徴
 ・日本全体の地図→47都道府県図→日本全図→日本全図の順で配置している。
 ・地域図→大陸別図に合わせて、折込ページを用いている。
 ・掲載している範囲は、その地図の位置や範囲が、国土のどの場所にあるのかを、この地図の位置で示している。
 ・巻頭に地名等を書き込みがない「ながめよう日本のすがた」という地図を掲載している。
 ・5ページにわたって日本全図を掲載している。
 ・京都市、奈良市、東京の中心部を5万分の1の縮尺の地図で示し、建築物のイラストを掲載している。
 ・縮尺を各地図ごとに入れて距離を示している。

○世界地図
 (世界全図)
 ・日付変更線や時差を示している。
 ・194か国の各国の位置や国旗が一覧できるように掲載している。
 また、正積方位図法による世界全図を別に掲載している。
 (大陸別図)
 ・世界各地の情報や特徴を、イラストで表している。

○主題図
 ・「自然」や「食料生産」、「工業生産」、「日本の貿易」、「歴史と文化」等の主題図をテーマ別にまとめて掲載している。
 ・「日本の歴史と文化」では、昔の境界、歴史的な名所や各地の祭等を1つの地図で掲載している。
 ・また、世界文化遺産を写真で掲載している。
 ・主な大陸と海洋の名前とともに、地球儀の使い方を写真を用いて示している。

○キャラクターの活用
 ・キャラクタークタタを見開きページに1人は登場させ、主題図の読み取りの手引きを示したり、都道府県や世界の国々の豆知識を紹介したりする役割を果たしている。

○統計資料
 ・「日本と世界の自然」では、日本と世界の統計を2ページで掲載している。「日本の都道府県の統計」では、17項目を掲載している。

○索引
 ・世界と日本を大別し、都道府県名・都道府県庁所在地は赤字、国・首都名は記号で表している。
 ・全市町村名が掲載され、市、町、世界遺産等は、7種の記号とともに地名を表記している。

2
東書

○構成上の特徴
 ・特色のある都道府県図→日本全図→日本全図→日本全図→世界全図→大陸別図の順で配置している。
 ・掲載している範囲に合わせて、折込ページを用いている。
 ・日本地域図では、その地図の位置や範囲が、国土のどの場所にあるのかを「位置」で示している。
 ・47都道府県の位置の確認を意図した書き込み地図を掲載している。
 ・5ページにわたって日本全図を掲載している。
 ・特色ある土地利用の様子を鳥瞰図で表すことにより、その土地でのくらしを表している。
 ・日本の各地方の地図は100万分の1、大陸別図では400万分の1と異なるように縮尺を統一している。

○世界地図
 (世界全図)
 ・日付変更線、時差、民族衣装、15か国の挨拶等を示している。
 (大陸別図)
 ・アジア、ヨーロッパ、アメリカは拡大図を用いている。
 ・世界各地の情報や特徴を、イラストや写真で表している。

○主題図
 ・「自然のようす」や「産業のようす」、「日本の歴史」、「日本と世界の結びつき」等の主題図をテーマ別にまとめて掲載している。
 ・「日本の歴史」では、江戸時代の交通路、昔の境界、歴史の舞台となつた場所等をそれぞれで掲載している。
 ・また、日本の歴史の主な出来事を年表で掲載している。
 ・主な大陸と海洋の名前とともに、地球儀の使い方を整理した文章で示している。

○キャラクターの活用
 ・キャラクターを児童の視点に立ったキャラクターのセリフにより大切なお知らせを児童がわかりやすく示している。
 ・また、児童がわかりやすく示している。

○統計資料
 ・「自然の統計」では、日本と世界の統計を掲載している。「日本のすがた」では、23項目の統計と帯グラフを掲載している。

○索引
 ・世界と日本を大別し、都道府県名・都道府県庁所在地・国名・首都名は赤字、歴史地名は青字で表している。
 ・市、町(区)、世界遺産等は、8種の記号とともに地名を表記している。

46
帝国

算 数

項目	発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ	内容別配当ページ数							教材・資料等の分量			使用上の便宜・編集上の工夫等	
			主に内容の 理解			主に内容の 習熟と活用				特設教材・ 選択教材等の 数	算 教 的 活 動 例 の 数	発 展 的 な 学 習 の 問 題 の 数		
			数 と 計 算	図 形	数 量 関 係	ま と め の 問 題	特 設 選 択 教 材 等	目 次 ・ 解 答 等	巻 末 折 り 込 み					
2 東 書	1年	168	99	15	21	9	3	13	6	2	44	30	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5判。1～5年は上下巻分冊。6年は合冊。 ・ 上巻巻末に学習習慣を身に付けるための「新しい算数を使おう！」を設けている。(2年以上) ・ 巻末には、学習した内容を確かめたり調べたりしやすくするために索引を設けている。(2年以上) ・ 各単元に「しあげ」を配置している。(2年以上) ・ また、その側注には、各問題のめあてやダウンロードブックのためのコーナーを設けている。(3年以上)
		240	102	29	16	12	21	40	12	8	106	10	0	
		280	113	23	20	17	25	56	16	10	140	10	3	
		296	107	28	33	17	23	66	15	7	120	7	3	
		292	68	44	34	23	30	76	13	4	180	8	2	
		262	24	35	24	54	26	82	13	4	154	6	14	
4 大 日 本	1年	150	90	12	14	7	3	20	2	2	35	32	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5判。全学年合冊。 ・ 巻末には、算数科の用語や重要事項からページをたどれるように、索引を取り付けている。また、学習活動によるように、問題解決が得意になる。「問題提示」の項を基に、問題解決が得意になる。「右ページ」の項を基に、問題解決が得意になる。「右ページ」の項を基に、問題解決が得意になる。 ・ 巻頭に「算数の学び方」を設けている。また、問題提示の項を基に、問題解決が得意になる。「右ページ」の項を基に、問題解決が得意になる。 ・ 「みんな考える問題」と「学んだ考え方をさらにふかめる問題」とを記号によって区別している。
		220	95	21	15	10	20	49	4	6	180	15	1	
		228	98	23	20	15	24	39	5	4	187	44	2	
		252	96	23	36	16	23	48	7	3	213	42	2	
		246	72	39	36	25	18	45	5	6	202	42	1	
		238	21	30	23	45	18	86	9	6	228	26	8	

算 数

項目	発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ		内容別配当ページ数							教材・資料等の分量			使用上の便宜・編集上の工夫等	
		主に内容の 理解							主に内容の 習熟と活用			特設教材・選定教材等の教	算数的活動例の教		発展的学習の問題の教
		数と計算	図 形	数量関係	まとめの問題	特設 選定教材等	見 本・解 答	巻 末 折 り 込 み							
11 学 図	1年	93	12	9	2	22	3	6	41	38	0	<p>・B5判。1・5・6年は合冊。2～4年は上下巻分冊。</p> <p>・目次は、各学年の学習内容と既習事項が領域の中でどのように関連しているのかが分かるように、矢印を用いて示している。また、教科書に書き込む問題を巻末に別冊「中学校へのかけ橋」が用意されている。</p> <p>・6年前半は、算数の総復習としての「算数で使ってきた学校へのかけ橋」になっている。</p>			
	2年	94	28	18	13	48	6	8	95	40	0				
	3年	274	62	38	10	55	55	10	144	18	6				
	4年	278	105	36	17	55	55	9	121	10	2				
	5年	291	87	53	21	43	43	7	112	28	0				
	6年	266	30	39	28	73	73	9	138	13	19				
17 教 出	1年	170	104	13	2	14	1	4	23	27	4	<p>・B5判。1・5・6年は合冊。2～4年は上下巻分冊。</p> <p>・答えを書き込めるスペースを設けている。また、巻末に切り取り教具や索引を設けている。</p> <p>・「はたさない?」「なるほど!」のマークで、学級で共有している。このよさを振り返る4コマ漫画で児童の考え方を理解しやすいように、様々な場面を示している。</p>			
	2年	246	97	29	18	48	8	8	113	39	7				
	3年	262	102	21	19	57	57	8	153	36	5				
	4年	292	107	23	26	54	54	12	108	43	4				
	5年	278	60	46	22	68	68	8	198	33	10				
	6年	242	22	33	49	73	73	8	205	30	10				

算 数

項目	総ページ	内容別配当ページ数						教材・資料等の分量			使用上の便宜・編集上の工夫等			
		主に内容の理解			主に内容の習熟と活用			特設教材・選択教材等の数	算数的活動例の数	発展的な学習の問題の数				
発行者の 番号・略称	1年	2年	3年	4年	5年	6年	教と計算				図形	数量と測定	数と関係	まとめの問題
								61 啓林館	1年	174				
2年	282	96	27	19	8	24	96		8	4	196	26	4	
3年	294	108	18	17	15	19	99		12	6	231	12	2	
4年	292	89	24	29	21	28	86		12	3	228	13	2	
5年	280	62	35	36	20	17	97		7	6	242	6	1	
6年	294	24	33	28	54	15	126		12	2	233	6	6	
116 日文	1年	170	110	15	16	8	3	14	2	2	39	35	0	
	2年	290	101	32	20	10	15	84	18	10	236	13	6	
	3年	314	108	25	24	18	16	95	18	10	299	16	6	
	4年	326	108	28	34	24	14	97	14	7	273	15	6	
	5年	318	72	49	37	23	15	96	16	10	248	7	1	
	6年	274	27	31	24	46	13	115	16	2	239	6	14	

・ B5判。1・5・6年は合冊、2～4年は上下巻分冊。
 ・ 必修正内容の本編と、個に応じて取り組める選択内容の「発見！算数島」の2部構成になっている。
 ・ 巻頭に「教書」の道筋を示している。また、中学校と学習との関連の深い内容には、マークを付けている。また、教書と関連の深い内容には、マークを付けている。また、巻末に「算数」の切り取り教具を付けている。また、基本的な教具の使い方や作図の仕方を分解写真で示している。

・ A・B判。1年は合冊、2～6年は上下巻分冊。
 ・ 巻頭に「さあ、算数の学習を始めよう」を設定し、問題解決的な学習の進め方、ノート書き方、教科書のしくみやマークの意味を説明している。
 ・ 「上巻」を付録として、「算数」で使いたいことば・考え方を、また、巻末に切り取り教具を付けている。
 ・ 「新しい問題や活動、考え方のヒントなどを示す」ための練習問題を配置している。

算 数

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
11 学 年	<p>○基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「サポート」のページを設けており、つまづきやすい場面や理解が難しいと思われる内容については、モデルステップの問題を載せている。 ・「計算のしかたを考えよう」という単元を設け、計算の方法を見童が今ままで学習した計算のきまきまを使って求める学習活動を設けている。 <p>○興味・関心・意欲を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「算数探検隊」のページを設け、身近に存在する算数的な事象や教材をカララ一写真で紹介している。 ・興味・関心をもてるように、特に重要な単元については、単元扉のページを設け、大判イラストや写真を示している。 <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な内容に関連させながらノート書き方を学習できるように「ノート名人になろう」が設定されている。
17 教 出	<p>○基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習のまとめは、知識のまとめと技能のまとめに分けて確認できるようにしており、以降の学習を進めていく際の振り返る場所にもなっている。 ・「学習をふりかえろう」のコーナーを、単元の間に組み込み、学習した内容をもつて一度復習できるようにしている。 ・児童が目的意識をもつて主体的に学習に取り組めるように「はてな？」「なるほど！」の吹き出しで「学習のねらい」「考え方のまとめ」を示している。 <p>○興味・関心・意欲を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「算数ワールド」を設け、学習したことをゲームのように楽しみながら取り組める内容としている。 ・算数メモや算数ミニクイズ、身の回りにおける算数などの見出しコラムを設け、学習した単元の内容の知識をさらに広げられるようにしている。 <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p>

・「ことば」のコラムを設け、説明のための文型や、算数用語などを解説している。(3年以上)また、巻末に読解力や表現力を養うために「チャレンジ」の問題を掲載している。

○個に応じた指導を図るための工夫

- ・巻末に本文ページとリンクしている3種類の異なるタイプの問題で構成された「力をつける問題」を設けている。
- ・「倍の計算」についての特設ページを、整数・小数・分数のかけ算やわり算の学習の後に設け、重点的に学習できるようにしている。
- 単元等の配置・構成
- ・単元の導入直前に「生活経験を振り返ったり、既習事項を確認したりする」学習の準備」のページを設けている。
- ・見通しをもつて学習できるように毎時の導入課題を枠組みで明示している。また、単元ページは基本的に1ページ1時間で構成している。

・表現力を身に付けさせるために「学びの手引き」として、「算数で使いたい言葉」「算数で使いたい考え方」「算数を広げる力」のコーナーがある。

・複数の単元や領域の学習を総合的に活用したり、読解力を育てたりする問題として「算数を使って考えよう」がある。

○個に応じた指導を図るための工夫

- ・「ステップアップ算数」には、「きほんの問題」と「レベルアップ問題」など、個にに応じて取り組める問題があり、授業で扱う問題と関連付けている。
- 単元等の配置・構成
- ・毎時の学習を「問題→ステップ→発言・話し合い→まとめ→たしかめ・練習」の基本サイクルで行うことで、学びの習慣付けができている。
- ・単元末には「学んだことを使おう」で、その単元の学習を活用する問題がある。

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
61	啓林館	<p>○基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習前の準備で既習事項を振り返り、単元末の「たしかめカエル」ではつまみずきを確認できる。また、「ふかエル」で関連する既習事項のページを示している。 ・「復習」の問題や巻末の「学年のまとめ」「もつと練習」(2年以上)で、繰り返し練習できるように構成されている。また、毎授業終了後には、「もつと練習」に導くリンクマークを付けている。 <p>○興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを実験によって確認し、実感を伴う理解ができるように「算数実験室」を設けている。(3年以上) ・見通しをもつて学習が進められるように、学習の道筋を示す「教科書の使い方」「学習の進め方」を設けている。 ・主体的に学習が進められるよう「わくわく算数学習」を設けている。(2年以上) <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p>
116	日文	<p>○基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元前の「次の学習のために」で既習内容の確認、「復習」で学習内容の定着、「じっくりチェック」で今後の学習のものとなる内容の確認ができるようになっている。 ・単元末の「たしかめポイント」で、単元で学習した内容を確認できるようにしている。また、振り返りができるよう、「復習」の問題には学習したページ番号を記載している。 ・「復習」の最後に「まちがいがいい問題」として、児童が苦手とする内容への対応が図られている。 <p>○興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入として、学習への動機付けや素地づくりを行う「単元アプローチ」を設けている。 ・算数的活動への意欲を高めるため、「いちにち・算活」を設け、活動内容をより具体的に示し、手順や準備物を掲載している。 <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p>

理 科

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数		教材・資料等の分量								使用上の便宜・編集上の工夫等		
		A 物質・エネルギー	B 生命・地球	その他	実験の例示数	観察の例示数	ものづくり例示数	補足的な内容	発展的な内容	読み物資料	単元のまとめ		安全面の配慮・注意	環境教育的配慮
2 東書	3年	57	83	22	11	16	5	21	2	21	9	24	9	
		72	100	16	18	17	3	35	5	17	11	39	11	
		59	104	13	19	17	14	21	13	28	10	30	27	
		79	124	11	25	6	4	39	12	19	15	36	10	
4 大日本	3年	62	75	9	14	19	9	22	5	29	9	18	3	
		63	105	10	18	21	3	19	14	30	12	33	10	
		54	106	8	23	12	22	34	32	35	11	52	32	
		72	106	10	21	4	5	40	30	21	14	35	23	

・ A B判。導入などで、学習内容と関連する生
 ・ 単元の導出や既習事項を示し、学習の系統性を
 ・ 活経験や既習事項を示し、学習の系統性を
 ・ 基礎的な内容の確実な定着に向け、記述式
 ・ 「たのしみなよう」を示している。実感でき
 ・ 学習の「学びをなごう」などの資料を掲
 ・ 載している。観察や実験の仕方、器具の使
 ・ 用方法をまとめて掲載している。

・ A B判。
 ・ 児童の興味・関心を高める読み物資料や
 ・ 理科学習の意義や有用性を実感できるよう
 ・ に科学者・技術者などの資料を掲載してい
 ・ る。
 ・ 手順や方法が比較しやすいように、関連あ
 ・ る実験を上下や左右に配置している。
 ・ 単元未だで児童自ら既習事項を確認
 ・ する評価の学習への興味・関心を高めるよう、
 ・ シル等の付録を付けている。

理 科

項目	総ページ	内容別担当ページ数			教材・資料等の分量								使用上の便宜・編集上の工夫等	
		A 物質・エネルギー	B 生命・地球	その他	実験の例示数	観察の例示数	ものづくり例示数	補充的な内容	発展的な内容	読み物資料	単元のまとめ	安全面の配慮・注意		環境教育的配慮
11 学図	3年	59	67	15	15	17	6	39	2	15	7	19	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。各学年で学ぶ学習内容を図示し、系統立てて学習に取り組めるようにしている。 ・ 紙の両面に、学習の進め方、ポイント、レポーターなどの扱い方などの参考となるように、話し方やノート、レポーターのまともな書き方、実験器具などに対する感性の育成に向けて、写真や豊かな自然をうたった詩を掲載している。
	4年	71	91	15	19	19	5	53	11	15	9	36	3	
	5年	52	103	18	14	8	8	30	25	33	11	23	27	
	6年	88	113	16	27	5	3	33	19	22	19	50	5	
17 教出	3年	70	104	8	14	19	5	19	3	29	12	17	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。キヤラクターを使用して「学習の順序」を示し、児童の興味・関心を高め、問題解決の流れを明確にしている。 ・ 単元末に「確かめ」を設け、児童自ら学習内容の興味を確認できるようにしている。 ・ 児童の興味に応じて活用できるよう、巻末にミニ図鑑を掲載している。 ・ 児童が主体的に学習に取り組みめるよう、「やってみよう」として、学習のきっかけとなる活動を設定している。
	4年	79	128	7	18	16	5	31	13	28	11	48	2	
	5年	63	129	6	21	5	18	36	32	55	8	27	35	
	6年	77	126	9	25	2	2	42	14	10	22	51	7	

理 科

項目	発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ	教材・資料等の分量								環境教育的配慮	安全面の配慮・注意	使用上の便宜・編集上の工夫等			
			内容別配当ページ数			実験の例示数	観察の例示数	ものづくり例示数	補充的な内容	発展的な内容				読み物資料	単元のまとめ	
26 信教		3年	73	74	9	23	21	7	17	6	19	7	18	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5判。 ・ 巻頭に「一年間の学習」の流れを図示し、学習内容や準備物について、事前に把握できるようにしている。 ・ 問題解決の道筋がとえられよう、児童の意識や考え方を生かして学習課題を設定している。 ・ 季節の特徴や生物の成育状況などを考慮した単元配列にしている。 ・ 視覚的に理解しやすくするために写真やイラスト内に吹き出しを設けている。 	
		4年	78	99	7	36	25	7	30	10	26	9	30	2		
		5年	49	100	9	23	20	9	9	21	21	23	11	10		16
		6年	70	99	7	49	9	7	32	12	4	8	8	29		0
61 啓林館		3年	93	102	21	14	15	10	20	5	15	10	33	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ A、B判。 ・ 「わくわく理科プラス」の2分冊で、後者には自分の考えを書く欄を設けている。 ・ 巻頭に「問題解決能力の育成のため、「学習の進め方」を掲載している。 ・ 裏表紙に「保護者の方へ」を掲載し、理科で付けたい力や魅力を家庭に伝えている。 ・ 5・6年の巻末に、全国各地の施設や教材の活用を促すための資料を掲載している。 	
		4年	105	118	21	17	15	9	28	8	19	9	33	5		
		5年	71	155	22	12	13	13	34	70	22	20	54	49		
		6年	89	154	21	21	4	4	44	47	21	18	39	11		

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
2 東書	<p>○基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問題」に対応した「まとめ」を、分かりやすいように箇条書きで示している。 ・単元末の「たしかめよう」では、これまでの学習を振り返り、基礎・基本の習得を確認できるようにしている。 <p>○観察・実験の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の流れをつかみやすくするよう準備物の一覧を示している。 ・観察・実験の手順をフローチャートにまとめて示している。 ・技能の定着に向け、重要な技能については複数の学年にわたって掲載している。 <p>○問題解決的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れがつかめるように、問題解決の過程を緑色のラインで示している。 ・学習のまとめがよくなるように、問題解決の各過程のタイトルを大きな文字で示している。 	<p>○言語活動の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的な言葉や概念を使って記録したり、話し合いをしたりするための資料を巻末に示している。 ・話し合い活動が行いやすいように、「予想しよう」等で吹き出しを利用している。 <p>○学習意欲の向上を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心を高めるため課題に適した写真やイラスト、パラパラ漫画形式の資料やカード等を示している。 ・学習の動機付けに生かせるよう各単元の扉に「思い出そう」を設け、既習事項を想起できるようにしている。 <p>○情報教育の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由研究や資料の集め方等で、インターネットの扱い方を取り上げ、調べ学習の手助けとなるようにしている。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命尊重や環境保全、自然との共生の態度を育成する内容を取り上げている。
4 大日本	<p>○基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を振り返る場面や各単元末に「ふりかえろう」を設け、系統性を重視した学習を進めたり、知識・技能の定着を図ったりしている。 ・重要な内容であることがよく分かるよう、「わかったこと」と科学用語の定義や関連した内容を破線で区別し、全体として枠囲みをして示している。 <p>○観察・実験の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の場面では、具体的なポイントや流れの写真、イラストを盛り込み、児童が見通しをもって取り組めるようにしている。 ・具体的に注意を喚起するよう、安全に対して配慮が必要な場面には「注意」マークを付けている。 <p>○問題解決的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決能力の育成を踏まえた学習の仕方を、各学年の巻頭で、「理科の学び方」として示している。 	<p>・問題解決のどの過程であるかがつかめるよう、大きな文字のマークを示している。</p> <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝えたり、人の意見を聞いたりする場面を取り入れられている。 ・単元末に記述式の振り返り学習を設けている。 <p>○学習意欲の向上を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学に関する資料やものづくりを掲載し、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにしている。 ・科学者や技術者などの資料を掲載している。 <p>○情報教育の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を集めたり、調べたりする活動では、コンピュータやインターネットの活用方法を示している。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・飼育した生物を学習後に自然に帰すことを記述するなど生命尊重に配慮している。

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>11 学図</p>	<p>○基礎・基本の定着を図るための工夫 ・児童の学習の参考になるようにノートやレポートを例示している。 ・単元導入前に、関連する既習事項の振り返りのページを設けている。 ○観察・実験の工夫 ・より確実な観察・実験につながる実験器具の使い方を示している。 ○問題解決的な内容 ・学習課題を明確にし、見通しをもって学習できるよう、一連の問題解決の流れを紙面両サイドバーの上に掲載している。 ・チェックボックスを設け、問題解決の流れが確認できるようにしている。 ○言語活動の充実を図るための工夫 ・学習時に児童が参考にできるように巻末に話し方や発表</p>
<p>17 教出</p>	<p>○基礎・基本の定着を図るための工夫 ・児童が観察や実験などを通して学習したことが知識として習得されているかを確認できるように単元末に「確かめ」を設けている。 ・各単元で習得する内容をキャラクターの「わかった」マークと下地に色を付けて明確に示している。 ○観察・実験の工夫 ・安全に関する指導については、「注意マーク」に加えて「危険マーク」を設け、裏表紙には「安全の手引き」を掲載している。 ・観察・実験のための特設のページを掲載している。 ○問題解決的な内容 ・思考の流れを明確にするよう、各学年の巻頭に「学習の順序」と「〇年の学び方」を掲載している。 ・キャラクターのナビゲートにより学習の流れを確認しながら問題を解決していくことができるようにしている。</p>

の仕方を例示している。
 ・児童相互のコミュニケーションや自分の考えを表現させる場面として話し合い活動を設定している。
 ○学習意欲の向上を図るための工夫
 ・単元の見通しと期待感をもたせるために、単元冒頭に関連する学習内容のまとめや主要な活動の写真を示している。
 ・科学に対する興味・関心を高めるよう、表紙や裏表紙に科学者の写真や言葉に掲載している
 ○情報教育の充実を図るための工夫
 ・インターネット等の活用を促すとともに、インターネット使用時のマナーなどを示している。
 ○その他
 ・自然を愛する態度の育成を図るため、巻頭に詩や写真を掲載している。
 ・防災に関わる項目について、マークを付けて掲載している。

○言語活動の充実を図るための工夫
 ・意見交換する場面を随所に設定し、言語活動を通して客観性のある結論が導き出せるようにしている。
 ・各学年に応じたノートの使い方を掲載している。
 ○学習意欲の向上を図るための工夫
 ・巻頭に学習と関連のある専門家からのメッセージを掲載している。
 ・児童の興味に応じて活用することができるよう、各学年の巻末にミニ図鑑を掲載している。
 ○情報教育の充実を図るための工夫
 ・調べ学習を支援するためのインターネットのアクセス先やデジタルカメラの活用例を示している。
 ○その他
 ・生物愛護、生命尊重、環境保全、地球にやさしい新技術など、環境教育に関する内容を「地球となかよし」マークを付けて紹介している。

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>26 信教</p>	<p>○基礎・基本の定着を図るための工夫 ・基礎的・基本的事項の理解・定着に向け、結果や結論を「学習カード」や本文で示したり、初出の用語については字体を変えて強調したりしている。 ○観察・実験の工夫 ・観察・実験の方法や順序、操作や測定のポイントなどを写真や図で視覚的にとらえられるようにしている。 ・安全対策について、イラストや写真を用いて説明するページを設けている。 ○問題解決的な内容 ・各単元のはじめに、経験や既習事項を想起させる場面を設け、問題の提起を行っている。 ・気付きや疑問、考え方のヒント、観察・実験のポイントなどを吹き出しで示し、問題解決の見通しや道筋をとらえやすくしている。 ○言語活動の充実を図るための工夫</p>
<p>61 啓林館</p>	<p>○基礎・基本の定着を図るための工夫 ・既習事項を「思い出しよう」のコロナーで確認しながら、学習が進められるようにしている。 ・各単元末に留意点が示されたレポート形式のまとめ方の例を提示している。 ○観察・実験の工夫 ・安全のための配慮として、注意マークや共通マークを用いている。 ・理科室の使い方や実験器具の正しい使い方が詳しく提示され、ルールやマナーが身に付くように工夫している。 ○問題解決的な内容 ・児童が見通しをもって学習できるように、巻頭「学習の進め方」で問題解決学習の流れ全体を示している。 ・おさえべき内容については、「考察」の本文に太字青下線を施している。 ○言語活動の充実を図るための工夫</p>

・経験や既習事項などを想起して話し合い、問題を見付けられることができるように、マークを表示して話し合う場面を設定している。
 ・児童が自分の言葉で考えを分かりやすく伝える表現力を養うために、単元末に「まとめよう」を掲載している。
 ○学習意欲の向上を図るための工夫
 ・読んだり調べたりすることから知識・理解を広げ、身近な自然や科学に興味・関心をもつように、「しりょう」のページを随所に設けている。
 ○情報教育の充実を図るための工夫
 ・写真、図、絵、イラストにズームアップの手法を活用して、充分な情報が伝わるように配慮している。
 ○その他
 ・生活と学習内容との関わりを重視し、環境学習につながる具体例を示している。

・観察・実験の予想・計画、考察の場面では話し合いの場面を設け、具体的な発問を例示している。
 ・論理的に考える態度や能力を育てるために、実験や観察の結果と考察を区別して掲載している。
 ○学習意欲の向上を図るための工夫
 ・理科に興味をもち、理科の有用性を実感できるよう、単元末に「ひろげよう」を設定し、実社会と関連した内容を写真などを用いて掲載している。
 ○情報教育の充実を図るための工夫
 ・新聞、図鑑、インターネット、科学館、地域の人への取材など情報収集の具体例を示している。
 ○その他
 ・5・6年の巻末に、全国各地の施設や教材の活用を促すための資料を掲載している。
 ・生命の神秘さや素晴らしさ、環境保護に触れる話題を取り上げている。

生活

項目	発行者の 番号・略称	総ページ	内容別配当ページ数								教材・資料等の分量					使用上の便宜・編集上の工夫等		
			学校生活	家庭生活	地域生活	公舎物や公舎施設の利用	季節の変化と生活	自然物を使った遊び	動物の飼育・栽培	生活や出来事の流れ	自分の成長	資料	吹き出しのあるキョウカタノ教	子どもの学習カード例ノ教	習得や技能の習得のページ		発展が求められるページ	
2 東書	上	134	25	7	6	4	4	24	18	29	10	11	15	60	26	23	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 植物の成長を3段階に示した変型判ペー ・ ジョーや、野外での活動に携行できる「ポ ・ ケットずかん」などを設けている。 ・ 季節の流れを軸に2年間の活動を18の ・ 単元で構成している。 ・ 状況に応じて、発展的・選択的に活用 ・ することができる「やってみよう」や、 ・ 身近な植物を実物大で描き、色や形、 ・ 大きさを比べられる「ほんとうのおお ・ きずかん」を設けている。
	下	122	3	0	30	11	13	10	21	22	12	17	75	33	26	10		
4 大日本	上	134	22	4	2	4	26	30	30	10	6	24	61	35	14	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 児童の興味・関心を高めるよう、透明 ・ シートの口絵や切り取って使えるピン ・ ゴゲームペーパーなどを設けている。 ・ 季節に沿って、人・社会・自然の一体 ・ 的な流れの中で上巻から下巻へとつな ・ ぐ大単元構成としている。 ・ 「がくしゅうど ・ うぐはこ」を設けたり、ページの右端 ・ に授業に生かせる資料やヒントを示し ・ たりしている。 	
	下	134	4	6	30	3	14	19	24	14	20	30	22	48	21	4		

生 活

項目 発行号・略称	総ページ		内容別配当ページ数									教材・資料等の分量					使用上の便宜・編集上の工夫等
	上	下	学校生活	家庭生活	地域生活	公共物や公共施設の利用	季節の変化と生活	自然物を使った遊び	動物の飼育・栽培	生活や出来事の流れ	自分の成長	資料	吹き出しのあるキャラクター教	子どもの学習カード例数	習得や技能習得のページ	発展が含まれるページ	
11 学園	上	132	31	10	0	1	17	20	41	4	8	13	23	21	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4変型判。 ・ 児童の意欲の喚起を図るよう、大単元の扉ページには写真を提示している。 ・ 五つの大単元で4人の登場人物を固定してストーリーを展開させている。 ・ 上下巻末に「いきものずかん」や「学びがたずかん」を設け、身近な動植物の学習に役立つ基本的な学習方法を示している。上下巻末等に「あんぜんのページ」を設け、道具の使用方法や防災等について示している。
	下	128	10	1	4	8	20	38	14	12	33	29	30	16	4		
17 教出	上	122	35	5	0	3	26	11	26	5	11	25	24	23	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 上下巻末に「ぐんぐんボケット」を設け、身に付けさせたい習慣や技能を示している。 ・ 「ナビゲートライン」を設け、小単元名や学習のねらい、関連する情報等を同じ位置に配置している。 ・ 上下巻末に「生活科ノート」を設け、たし色塗り、図を描いたりといった書き込みをして学習を振り返ることができきるようになっている。
	下	116	10	2	3	3	8	12	25	10	11	25	31	36	22	3	

生 活

項目	発行者の 番号・略称	総ページ	内容別配当ページ数								教材・資料等の分量					使用上の便宜・編集上の工夫等	
			学校生活	家庭生活	地域生活	公共物・公共施設の利用	季節の移化と生活	自然や物を使った遊び	動植物の飼育・栽培	生活や出来事の交流	自分の成長	資料	吹き出しのあるキエクター数	子どもの学習カード例数	習得や技能の習得のページ		発展がなされるページ
	26 信教	上	12	1	5	0	24	25	23	13	5	2	19	21	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 判。 ・ 縦書き表記になっている。 ・ 野外学習の単元内に、観音開きページで動植物を図鑑的に示す「さんぼみち」を設けている。 ・ 児童の意識の流れに沿う時系列の単元構成とし、上巻学習内容を1年、下巻学習内容を2年としてしている。 ・ 上巻末に「きせつのうつりかわり」、下巻末に「みつけてみよう」の資料ページを設けている。
		下	9	6	16	4	22	6	20	6	11	4	2	24	3	2	
	38 光村	上	20	8	2	0	26	10	24	24	8	14	0	19	10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B 判。 ・ 児童の思いや思考の流れに沿って「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成している。 ・ すべでの単元に「どうすれば、いいかな」を設け、視点や活動を広げるヒントを示している。 ・ 単元末に単元の活動に関連する資料「もつとやってみよう」を、巻末に年間を通って活用できる資料「きせつのおくりもの」を設けている。
		下	10	0	15	2	8	20	27	14	10	2	0	49	10	2	

生 活

項目	発行者の略称 番号	総ページ		内容別配当ページ数								教材・資料等の分量				使用上の便宜・編集上の工夫等		
		上	下	学校と生活	家庭と生活	地域と生活	公共物や公共施設の利用	季節の変化と生活	自然物を使った遊具	動植物の飼育・栽培	生活や出来事の流れ	自分の成長	資料	吹き出しのあるキャラクター数	子どもの学習ガイド例の数		習得や技能の習得のページ	参考文献のページ
61 啓林館	上	134	7	32	12	10	4	15	17	19	18	7	18	49	35	19	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 活動に役立つ資料として別冊「せいかわたんけんブック」を設け、3冊構成にしている。 ・ 「せいかわたんけんブック」では、野外でより役立つよう、実物大資料や付随する資料を示している。 ・ 児童の思いや思考の流れに沿って、わくわく・いきいき・つたえあおう・ちやれんじの4段階で単元を構成している。
	下	126	7	7	3	16	4	14	15	28	30	9	24	78	45	26	13	
	せいかわたんけんブック	50	2	2	6	2	14	6	18	2	0	46	31	0	12	1		
116 日文	上	142	33	11	14	0	26	18	16	8	23	39	11	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 資料の充実を図り、具体的な手立てを分かりやすく紹介するために「なんでもずかん」を設けている。 ・ 児童の学習活動を広げ、学習効果を高めるよう、側欄、めくり、リンクを設けている。 ・ 児童が気付きを高めるためのヒントになるような選択式、目的式、自由記述式などのカード例を掲載している。 			
	下	136	6	8	14	4	2	18	40	32	12	31	28	55		16	2	

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>2 東書</p>	<p>○活動、体験の内容 ・身近な人々と伝わる学習活動例や、対象と繰返り関わる学習活動例を掲載している。 ・見付け、比べる、比べるための学習活動例を掲載している。 ○幼児教育や他教科等との接続 ・生活科を中心とした総合的な指導を行い、徐々に各教科に分化していく学習活動例を「すたあととぶつく」として1年の最初に示している。 ・国語科や音楽科、図画工作科との関連を図った表現活動例や製作活動例、また社会科や理科などへの接続に配慮した学習活動例を掲載している。 ○習慣や技能の習得 ・紙面右端に「やくそく」を掲載したり、巻末に「べんりてちよう」を設けたりすることで、活動を通して習慣や技能、学び方などを習得できるようにしている。</p>
<p>4 大日本</p>	<p>○活動、体験の内容 ・見開きの右上に木の葉スペースを置き、児童の意欲喚起と学習課題の明確化を図っている。 ・活動場は写真を用いており、児童の意欲喚起を図っている。 ○幼児教育や他教科等との接続 ・幼稚園・保育所で馴染みのある遊びから友達をつくり、学校生活を始められるようにしている。 ・活動に伴う表現例を中心に、他教科と関連した活動例を掲載している。 ○習慣や技能の習得 ・生活習慣の習得に生かせるよう、「がくしゅうどうぐばこ」のページを設けている。 ・活動に際しての注意や安全・マナーへの配慮を促したり、気付きを生み、その質を高めたりできるよう、登場人物やキャラクターを用いて示している。</p>
<p>○言語活動の充実を図るための工夫 ・活動を振り返り、気付きを多様な方法で表現する学習活動例や、伝え合い、交流して、気付いたことを基に考える学習活動例を掲載している。 ○自分への気付き ・学習活動や生活を振り返り、自分自身の成長に気付き、自己肯定感を培うための特設ページ「じぶんのことをふりかえろう」を設けている。 ○地域への関わり方 ・「地域のよさ」を振り返り、地域に発信する活動を通して、地域の愛着を深めている。 ○情報教育の充実を図るための工夫 ・電子黒板やインターネット、デジタルカメラ、コンピュータなどのICT機器を活用する学習活動例を掲載している。</p>	<p>○言語活動の充実を図るための工夫 ・活動に応じてページの右端に、語彙力・表現力を高め、言語文化への理解を促すためのコラム「せいかつことば」を設けている。 ○自分への気付き ・「対象への気付き」から「自分自身への気付き」に導けるよう、自分の成長を振り返る場面や、好きなこと、得意なことなどに気づく活動場面を示している。 ○地域への関わり方 ・身近な地域・人々への再発見や愛着を促すよう、「まちなたから」という概念をベースに段階的に取材、まとめ、表現・発表の各活動例を掲載している。 ○情報教育の充実を図るための工夫 ・フレッキシブリティやインターネット、デジタルカメラ、ビデオやコンピュータなどを活用する学習活動例を「がくしゅうどうぐばこ」のコーナーなどで示している。</p>

生活

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
11 学図	<p>○活動、体験の内容 ・自ら課題解決する力を身に付けられ るよう、導入、企画、実行、振り返り、 振り返り、改善というステップで活動 している。</p> <p>○幼児教育や他教科等との接続 ・学校生活を始めるに当たって、上巻の 最初に「1ねんせいになったよ」の折込 ページを設けている。</p> <p>・表現活動では、手紙、作文、カード、 グラフ、絵画や立体造形、壁新聞、 地図などを例示し、国語や算数、図工、 音楽など他教科との合科的な扱いを 示している。</p> <p>○習慣や技能の習得 ・上巻8・9頁、上下巻末に「あんぜん のページ」を設け、交通安全や防災、 道具の安全な使い方に関する注意など を掲載している。</p>	<p>○言語活動の充実を図るための工夫 ・上下巻末には「学びかたずかん」を 設け、話す、話す、聞く、関 連するなどの基本的な学習の方法を 示している。また、リンクマークを 示している。</p> <p>○自分への気付き ・自分自身について振り返ることが できるように、ほとんどのカードに 自己評価欄を設けている。</p> <p>○地域への関わり方 ・地域との関わりを深めるために、 町探検の活動の発展として「チャ レンジずかん」の中で、いろいろな 町の工夫を示している。</p> <p>○情報教育の充実を図るための工夫 ・電話やファックス、デジタルカメ ラ・携帯端末、ビデオ、ポイ スレコナー、インターネットなどを 活用する学習活動例を「学びか たずかん」のコーナーで示している。</p>
17 教出	<p>○活動、体験の内容 ・上巻では、自然の不思議さ、おも しろさなどを取り上げ、自然事象か ら科学的なものへの考え方の基礎を 学ぶ学習活動例を掲載し、下巻では 論理的な思考を育むことができるよ うに、見通しをもつ、予測するなど の学習活動例を掲載している。</p> <p>○幼児教育や他教科等との接続 ・学校生活のスタートに当たり、児 童の不安を軽減できるような導入 ページを設け、保幼との相違、絵 本の生活の1日、友達づくり活動な どを例示している。また、幼児を 招いての発表活動例なども設けて いる。</p> <p>○合科的・関連的な指導の目安とな る教科マークを明記している。</p> <p>○習慣や技能の習得 ・挨拶の言葉や道具の使い方、記 録の仕方、発表方法、安全安心な などの項目について、上下巻末に 「ポケット」を設け、習慣や技能の 習得に生かせるようにしている。</p>	<p>○言語活動の充実を図るための工夫 ・体験したことを伝え合い、学習を 深め発展できるように、各単元に 伝え合いの学習例を掲載している。 ・絵や身体、歌などを通して表現活 動例を掲載している。また、付箋を 使った活動例など多様な考えを まとめるための思考ツールを示 している。</p> <p>○自分への気付き ・各単元のねらいに沿って、活動 を振り返るヒントも添え、児童 自ら3段階評価できるコーナーを 設けている。学習を振り返り、書 き込みができる「生活ノート」を 設けている。</p> <p>○地域への関わり方 ・学習したことを家庭や地域に 広げるために、各単元末等に「お うちでチャレンジ」を設けている。 ○情報教育の充実を図るための工夫 ・電話やデジタルカメラ、ビ デオカメラなどを活用する学習 活動例を「ポケット」のコーナー で示している。</p>

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>36 信教</p>	<p>○活動、体験の内容 ・問題解決的な能力や態度が育つよう、活動を自ら課題をもつて調べ、考え、行い、追究し、表現するといった展開で構成している。また、子どもたちの願いや地域の実態に応じて自由に選択して学習活動ができるよう、単元によっては複数の教材を示している。 ○幼児教育や他教科等との接続 ・入学期の児童の発達段階を考慮して、遊びや活動に総合的に取り組めるようにしている。 ・他教科や3年以上の教科学習、総合的な学習の時間との関連を考慮し、聞き取りやインタビューとそとの方法の立案、地域調べや図の表し方などを示している。 ○習慣や技能の習得 ・生活上必要な習慣や技能を習得するために、安全を要する学習場面においては、キャラクターの吹き出しの言葉で注意を喚起している。</p>	<p>○言語活動の充実を図るための工夫 ・活動や体験の質が高まるよう吹き出しや対話、詩・作文を示したり、絵や作文、歌、身体表現、劇等による多様な表現活動を取り入れたりして、活動や体験を意識化し、意味付けられるようにしている。 ○自分への気づき ・上下巻末において、自分の幼い頃の成長を支えてくれた家族や周りの人々と自分との関わりについて振り返る学習活動例を掲載している。 ○地域への関わり方 ・直接体験を通して動植物や人と関わり、ふるさとへの愛着が深められるよう、年間を通じて地域と関わる学習活動例を掲載している。 ○情報教育の充実を図るための工夫 ・電話やコンピュータ、プロジェクターなどを活用する学習活動例を示している。</p>	
<p>38 光村</p>	<p>○活動、体験の内容 ・花を育てる活動、季節に触れる活動等、活動のままよりごとの単元を構成し、児童や学校、地域の実態に応じて始める時期や取り組む期間を柔軟に設定できるようにしている。 ○幼児教育や他教科等との接続 ・上巻冒頭で歌に合わせ友達や先生となかよしになる導入教材を位置付けている。 ・3年以上の理科学習を視野に入れ、科学に対する芽を育てることを意図し、体全体で触れたり、試行錯誤したりする体験を設けている。 ○習慣や技能の習得 ・方法や手順など、生活上必要な習慣や技能は、活動する中で自然に身に付くよう必然性のある流れの中で示している。安全面での注意や衛生面での配慮などを「！」マークで呼びかけたたり、特設コーナーで示したりしている。</p>	<p>○言語活動の充実を図るための工夫 ・対話や話し合い、口頭での発表やICT機器を使った発表、観察カード・文章等、表現したい内容や目的に応じた活動例を示している。 ・必然性ある場での双方向的な交流活動を設けている。 ○自分への気づき ・自分の成長を実感できるように、自分について思い起こしたり人に尋ねたりする学習活動例を掲載している。 ○地域への関わり方 ・地域で生活する人や働く人との交流を設定し、その人の仕事ぶりに対する尊敬やあこがれの気持ちをつぶさや作品例で示している。 ○情報教育の充実を図るための工夫 ・対話やインタビュー、図書利用、掲示板の活用、電話やファックス、ICT機器の利用などを活動する学習活動例を示している。</p>	

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>61 啓林館</p>	<p>○活動、体験の内容 ・2年間の季節の移り変わりをベースに、上巻は「学校と生活」、下巻は「地域と生活」をテーマとしている。 ・別冊として野外での活動に活用できる資料を「せいしかつたんけんブック」にまとめている。 ○幼児教育や他教科等との接続 ・入学したての児童の発達段階を意識して、上巻最初にイラストのみで展開する「いちねんせいになったよ」の単元を設けている。 ・季節変化に気付かせ、定観測や、3年の理科で扱う風・ゴムの単元をたらしなさにあわせている。 ○習慣や技能の習得 ・生活上に必要な習慣や技能の習得について、上下巻末資料や別冊「せいしかつたんけんブック」に示している。</p>	<p>○言語活動の充実を図るための工夫 ・身振り、手振り、歌や劇、クイズ、カードなどによる発表風景を紹介している。 ・活動前、活動中、活動後の伝え合う活動を例示している。 ○自分への気付き ・自分への気付きを深めるために、自分の役割を果たした活動例を掲載している。 ○地域への関わり方 ・地域の伝承遊びや行事、栽培では地域の特産物に目を向けるなど、地域を愛するところができるよう、活動例を掲載している。 ○情報教育の充実を図るための工夫 ・コンピュータやインターネット、デジタルカメラ、ボイスレコーダー、電子黒板などの活用事例を示している。</p>	
<p>116 日文</p>	<p>○活動、体験の内容 ・繰り返し体験活動ができるような単元配列にしている。 ・作成した絵や文等の作品を整理し、振り返る活動を各単元末に設定している。 ○幼児教育や他教科等との接続 ・上巻巻頭に「いちねんせいになった科」を設け、学校生活への適応、生活科を核とした総合的・総合的な活動など、様々な教育活動で継続的に活用できるようにしている。 ○習慣や技能の習得 ・上下巻に「なんでもずかん」を設け、習慣や技能の習得上に生かせるようにしている。 ・見開きページの右端に「側欄」、右下に「めぐり」を設け、学習効果を高め、学習を振り返るようマークで関連する学習効果を高めるようにしている。</p>	<p>○言語活動の充実を図るための工夫 ・ウエビページ法やKJ法のもとになる発想法を例示している。 ・必然性のある伝え合いや交流活動、表現活動ができるよう、上下巻それぞれに小単元化し、夏休み前後に設けている。 ○自分への気付き ・体験したことやカードや絵、作文等のポートフォリオをまとめ、整理し、振り返る活動を各単元末に示している。 ○地域への関わり方 ・地域への関わり方に気付き、親しみや愛着がもてるよう、高齢者や学区在住の人から昔の遊びを教わるなど、伝統的な遊びや地域文化を体験する学習活動例を掲載している。 ○情報教育の充実を図るための工夫 ・インターネットや電子黒板、デジタルカメラ、コンピュータなどを活用する学習活動例を示している。</p>	

音楽

項目	発行者の 番号・略称	総 ペー ジ	内容別配当ページ数						教材・資料等の分量						使用上の便宜・編集上の工夫等					
			表			現			楽典・運指表等	鑑賞と表現	歌唱曲	器楽曲	歌唱と器楽の曲	音楽づくりの取扱い		鑑賞曲	楽器の奏法・歌唱法	その他		
1年	2年	3年	4年	5年	6年	歌唱	歌唱と身体表現	歌唱と器楽							器楽				音楽づくり	鑑賞
17 教出		80	18	18	13	13	4	5	6	3	38	1	7	10	11	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 様々なマーカーを用いて活動のポイント、学習の振り返りや関連資料のページ等を示している。 ・ 全学年の巻末折込に楽器の奏法などを掲載し、このページを見ながら他のページを開いて学習を進めることができる。 ・ 透明シートや両開きの折込ページを設定している。また、楽器の奏法では手元のアップ写真を掲載したり、「学習のねらい」の重要な言葉を大きく示したりしている。 		
		80	20	11	21	6	5	6	5	6	24	0	12	8	16	5	6			
		84	29	4	13	10	3	12	4	9	17	7	12	3	18	4	10			
		90	35	1	9	8	4	19	4	10	22	7	8	3	17	6	9			
		90	33	1	10	10	4	22	0	10	21	7	8	3	12	5	12			
		90	36	1	9	9	5	15	4	11	20	6	8	3	9	5	10			
27 教芸		74	21	6	20	4	7	2	10	4	26	0	13	7	8	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 4 変型判。 ・ キヤラクターの吹き出しで活動のポイントや手がかりを示している。 ・ 巻末に「ふり返りのページ」を設けたり、楽器の奏法等についてまとめたりしている。 ・ 3年以上では、既習事項と当該学年で学習する事項、これから学習する事項に色分けして掲載している。 ・ 分かれて歌う部分の歌詞や、楽器の奏法を説明する言葉の囲みの色や形を区別して示している。 		
		74	20	5	23	0	7	6	8	5	22	0	12	5	10	4	3			
		74	22	0	10	13	7	15	0	7	17	9	7	4	10	8	9			
		74	21	0	12	7	7	16	3	8	17	5	9	4	14	4	9			
		74	30	0	6	10	4	13	2	9	22	7	4	2	8	4	8			
		74	31	2	4	10	4	11	4	8	21	6	2	2	7	2	7			

図画工作

項目	発行者の略称 番号	総ページ	内容別配当ページ数						教材・資料等の分量					
			造形遊び	絵や立体、工作に準ず	鑑賞	用具の扱い	造形活動への導入	その他	絵画教材	児童の作品	児童作品以外の鑑賞作品	児童の活動場面の写真	学習へのアドバイス	
1・2年上	9	44	5	25	7	4	2	1	23	77	23	107	85	使用上の便宜・編集上の工夫等 ・A4判で、折込ページでは、作家作品を中心とした鑑賞資料を大きく扱っている。 ・表紙は児童作品1点を大きく取り上げた他者や社会は、生活の中の造形や美術を通して他の者や社会との関わりを例を示している。 ・各題材で育てたい力を三つに分類し、ページのはじめに学習目標として示している。また、その学習目標に対応した評価の4観点を、末尾の「ふりかえり」で示している。 ・各題材での活動のポイントや基礎的な技能等を形や色の異なる囲みで整理して示している。 ・A4判より縦が2cm短いサイズで、ほとんどの題材を2ページの見開きで構成している。 ・表紙は児童作品の一部分を大きく取り上げ、裏表紙でその作品の全体像と作者の言葉等を掲載している。 ・各題材を表現と鑑賞の活動内容別に五つに分類し、「ページの始めに、評価の4観点に対応した「学習のめあて」を示している。 ・各題材での活動のヒントや材料・用具の取扱い、留意点等を、吹き出しや形や色の異なる囲みで整理して示している。
		44	5	25	7	4	2	1	22	94	20	69	79	
		44	4	27	6	4	2	1	22	94	24	87	78	
		44	3	27	7	4	2	1	17	95	19	79	85	
		46	3	29	7	4	2	1	18	100	21	54	75	
		46	2	29	10	2	2	1	19	99	28	57	77	
1・2年上	開隆堂	58	8	33	5	6	3	3	22	83	22	111	105	
1・2年下		58	9	30	7	6	3	3	22	34	7	44	101	
3・4年上		58	8	30	8	6	2	4	21	33	4	40	100	
3・4年下		58	8	30	9	6	2	3	20	33	10	38	97	
5・6年上		58	4	28	13	6	2	5	18	32	15	36	83	
5・6年下		58	4	28	13	6	2	5	18	36	16	38	89	
116 日文														

図画工作

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
9 開隆堂	<p>○題材の配列について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材を表現と鑑賞の領域ごとに、学習目標や活動内容、扱う材料や用具などに配慮し系統的に配列している。 <p>○表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材で児童作品を中心に、多様な表現方法を示している。 ・「あっ！いいこと考えた」「考えを広げて」等で、発想や表現方法を広げるためのヒントを示している。 <p>○鑑賞について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小さな美術館」で折込ページに作家作品を大きく扱い、「みんなのギャラリー」では暮らしの中の造形や伝統文化等について取り上げている。 ・鑑賞を深める手立てとして、問いかけを設定している。 <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動する児童の言葉や作品への思いを吹き出し等で示し、言語活動により発想や構想の能力、鑑賞の能力等を深めるための手立てとして示している。 	<p>・話し合い活動による相互鑑賞の場面を適宜取り上げている。</p> <p>○情報教育の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年を中心に、デジタルカメラやタブレット型コンピュータ等のICT機器の活用例について示している。 <p>○【共通事項】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材の「ふりかえり」等で、形や色の特徴やそのイメージを意識して活動を行うよう示している。 <p>○材料・用具について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「パレットコーナー」と「道具箱」を設け、学年に応じた描画材料とその他の材料・用具の扱い方について示している。 <p>○その他の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆめをかたちに」では、様々な造形作家の作品とメッセージを紹介している。 ・「ひらめきコーナー」では、紙を主材料とした工作と、それらを使った遊び方や飾り方などを紹介している。
116 日文	<p>○題材の配列について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた活動内容、材料や用具などに配慮し表現と鑑賞の題材を、系統的にバランスよく配列している。 <p>○表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材で、完成作品だけでなく、活動中の児童の姿を大きく掲載している。 ・表したたいことを工夫して表す題材と、材料に触れながら表したたいことを見付ける題材を示している。 <p>○鑑賞について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教科書美術館」や「ぞうけいのもり」のページを設け、各巻でテーマを絞って作家作品や身近なものの色や形について取り上げている。 ・鑑賞と関連させた表現活動の例を示している。 <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動写真や児童作品に原童の言葉や作品への思いを添え、言語活動により発想や構想の能力、鑑賞の能力等を深めるための手立てとして示している。 	<p>・「学習のめあて」で、伝え合ったり、話し合ったりすることを手立てとして示している。</p> <p>○情報教育の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラや電子黒板等の活用例や、インターネットを利用時のルールやマナーについて示している。 <p>○【共通事項】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材の「活動のめあて」等で、形や色とそのイメージを確かめながら活動するよう示している。 <p>○材料・用具について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に6ページにわたり「使ってみよう材料と用具」のページを設け、学年に応じた材料・用具の扱い方について示している。 <p>○その他の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての題材でクレヨンやキャラクターを登場させ、表現や鑑賞活動のヒントを示している。 ・道徳の内容と特に関連が深いページを青い鳥のマークで示している。

家庭

項目	発行者の 番号・略称	総ページ	内容別配当ページ数				教材・資料等の分量				使用上の便宜・編集上の工夫等	
			家庭生活と家族	日常の食事と調理の基礎	快適な衣服と住まい	身近な消費生活と環境	図及び写真のあるページ	図表及びグラフの教	注釈及び用語説明の教	発展的な学習の小題材教		書き込み欄の教
2 東書	5年	130	22	39	54	15	128	11	67	8	30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭見開きと目次がガイダンスになっている。「成長の記録」を学年末に記入し、「これからの私たち」で確かめられるようにしている。 ・ 領域ごとに題材のタイトルを色分けし、3ステップで構成している。「これだけはできるようになろう」などチェック欄を設けている。 ・ 基礎技能を「いつも確かめよう」として取り上げ、ページ端に色を付けて示している。巻末に拡大版がある。 ・ 実習の手順を明確にするため、大きな文字の見出しを付け、背景の色を変え、巻末の「いつも確かめよう」とリンクさせている。 ・ 題材は14題材を設定している。
	6年											
9 開隆堂	5年	114	24	31	52	7	112	9	82	19	49	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭見開きと目次がガイダンスになっている。学習の内容が段階を追って確認できるように、領域ごとにページの端に色帯を入れている。 ・ 「学習のめあて」、「できたかな」、「ふり返ろう・生かそう」などのチェック欄を設けている。 ・ ページ下部に、用語や豆知識を「ひとメモ」で解説している。 ・ 実習の一動作ごとにイラストや写真を対応させ説明している。 ・ 折込の「食品の分類表」「安全に学習するために」を広げると、生活の学習の際、学習のページと同時に見る事ができる。 ・ 題材は17題材を設定している。
	6年											

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>2 東書</p>	<p>○導入と学習の進め方 ・各題材の学習を3ステップで構成している。他教科との関連に「関連マーク」を付している。 ○基礎・基本の定着を図るための工夫 ・基礎・基本の確実な定着のために「学習のめあて」「ふり返ろう」を示し、「これだけではできないようになるろう」「いつも確かめよう」で実習の評価ができるようにしている。 ○問題解決的な学習について ・「Do!活動」や「自由研究例」で、学習したことを自分の生活に生かす具体例・課題例を示している。 ○言語活動の充実を図るための工夫 ・学習の振り返り場面や、自由研究例でレポートの記入例を示し、自分の思いを表現し、家族や地域の人への気持ち伝えることでコミュニケーション力を高めようとしている。</p>
<p>9 開隆堂</p>	<p>○安全への配慮について ・調理や製作における器具・用具の扱い方、作業の安全、衛生面など「安全マーク」を付して、注意を喚起している。 ○その他 ・家庭科における食育の充実 食の内容を系統的に繰り返し学習できるようにしたり、学校給食とも関連付けたりしており、人と一緒に食することやママと一緒にすることも取り上げている。 ・家庭科に関する伝統的な内容 「日本の伝統マーク」で衣食住に関わる伝統的な内容を示している。 ・環境への配慮 いろいろな活動場面に対応して実践できることを「環境マーク」で示している。</p> <p>○安全への配慮について ・「安全マーク」を付し、作業中の安全・防災について注意している。基本的事項が巻頭の折込ページにまとめられている。 ○その他 ・家庭科における食育の充実 食育関連ページに「食育マーク」を付しており、食事マナー・アレルギーマークについても取り上げている。 ・家庭科に関する伝統的な内容 「ごはんのみそしるをつくらう」や地域の食材を生かした料理調べ、伝統的な保存食を取り上げている。 ・環境への配慮 「環境マーク」で具体的な内容を示し、環境を意識した生活の仕方を考える場を設けている。</p>

項目	発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ		内容別配当ページ数						教材・資料等の分量				使用上の便宜・編集上の工夫等	
		3・4年	5・6年	毎日の生活と健康	育ちゆく体とわたし	心の健康	けがの防止	病気の予防	その他	資料としてのグラフ数	写真掲載数	脚注の数	書き込み欄の数		記号などで書き込む
208 光文	3・4年	28	48	12	13			3	8	30	11	5	1	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5判の紙面に、イラスト、図表・写真等を掲載し、視覚による理解を図っている。 ・ 学習や活動の内容がひと目で分かるように、ページ内の各所に様々なマークを配置している。 ・ 近年の生活習慣の乱れや生活環境の変化など、深刻化している今日的な課題を取り上げている。 ・ 習得すべき基礎的・基本的な学習内容を紙面の冒頭に掲載している。
224 学研	3・4年	34	48	14	16			4	5	39	6	7	2	16	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4判を採用し、写真やイラストなどの資料を掲載し、視覚による理解を図っている。 ・ 各章末に、知識・理解などの自己評価ができるよう、学習を振り返るページを設けている。 ・ 自分の考えが整理しやすい書き込み欄を取り入れている。 ・ 各項目のはじめに学習課題を示し、めあてをもって学習に取り組めるようにしている。
	5・6年	54							8	120	22	8	0	25	

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
2 東 書	<p>○導入と学習の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に学習課題を示し、次に「考えてみよう」「話し合ってみよう」などの学習を提示した後、本文によるまとめを行っている。 ・単元の導入で関連する写真3～5枚を掲載し、単元末では学習の振り返りができるようにしている。 <p>○作業を通じた学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年では、記号でチェックしたり、文章で自分の考えや方法などを記述したりできるようにしている。 ・5・6年では、文章で書き込む活動ができるようにスペースを確保している。 <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動が進むように「話し合ってみよう」の項目を設定している。 ・「活用して深めよう」では、学習したことを生かして自分の考えなどを記述する活動を取り入れている。 	<p>内容の程度・組織・取扱い等の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発展的な学習・・・「はってん」 ・「広げよう」では、2ページの補充資料を示し、今日的な課題を取り上げている。 ・4年では、「新しい命」「すいみんと発育」、5年では、「熱中症の予防と手当」「自転車安全利用五則」「防災安全マップ」、6年では、「たばこの主な有害物質」「新型インフルエンザ」「がんの予防」など、身近で今日的な課題を取り上げている。 ○その他 ・5・6年の「けがの防止」の単元では、学習内容として「自然災害によるけがの防止」について取り上げている。 ・インターネットを活用し、自ら調べ学習を進める手がかりとして、参考になるHPを紹介している。(5・6年で10か所) ・随所にある「つなげよう」では、他教科との関連や既習内容を示している。
4 大 日 本	<p>○導入と学習の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に学習課題を示し、「やってみよう」「話し合ってみよう」の後、本文によるまとめを行い、課題解決に生かせるようにしている。 ・単元の導入に保健ゲームを取り入れ、児童に学習の見通しをもたせられている。 <p>○作業を通じた学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年では、シールを使うことにより、簡単な作業で整理できるようにしている。 ・5・6年では、文章で書き込む活動ができるようにスペースを確保している。 <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の方法として、「話し合ってみよう」を設定し、話し合い活動を中心に学習が進むようにしている。 ・「活用」では、学習のまとめとして自分の考えなどを記述する活動を取り入れている。 	<p>内容の程度・組織・取扱い等の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発展的な学習・・・「はってん」 ・3・4年の「受けつがれていく命」では、へそのおをきっかけにして、自分の誕生について調べる活動を例示している。 ・5・6年の「自然災害にそなえよう」「AED」「いろいろなる病気と病原体」「大切な命」の単元では、児童にとつて身近で今日的な課題を取り上げている。 ○その他 ・教科書のキャラクターや養護教諭、カウンセラー、歯科医、警察などの専門家が登場し、学習のまとめをサポートする役割をしている。 ・5・6年の「病気の予防」では、参考になるHPを紹介している。また、「資料」「ミニちしき」などの情報を提示し、児童の学習意欲や知識・理解の向上を促している。 ・各章末には、発展的な資料として、「もっと知りたい!」というページを設けている。

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
207 文教社	<p>○導入と学習の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭で学習課題を提示し、男女のキャラクターの会話形式で多くの内容を示している。養護教諭のキャラクターが学習内容をまとめている。 ・単元の導入に、学校や地域のイラストを提示している。 <p>○作業を通した学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年は記号での書き込みや、表やグラフへの書き込み、5・6年は文章表記による作業を取り入れている。 ・5・6年の「やってみよう」では、友達のよいところを見付けたり、チャート図に書き込んだりする活動を取り入れている。 <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめとして、各単元の終わりに「これからの自分へ」として、実践課題の記入欄を設けている。 ・6年の「病気の予防」の最初に、「病気」から思い浮かぶことを出させ、学習への動機付けをしている。 	<p>○発展的な学習・・・「発てん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年の「育ちゆく体とわたし」では、児童の詩を紹介し、へそのおの役割について考えるようにしている。 ・5・6年では、「地域の保健活動」の中で、東日本大震災を例に、自然災害に備えて自分たちができることについて取り上げている。「AED」「熱中症」「気をつけよう！食中毒」「命にかかわる飲酒」「iPS細胞」など、今日的な課題を取り上げている。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「けがの手当て」では実習を取り入れた学習、「喫煙や飲酒の害」ではブレインストーミング、心の健康では自分で考える活動を取り入れている。 ・5・6年では、有名なアスリートから児童へ「夢に向かっで」というメッセージを掲載している。 ・5・6年のエイズに関する内容で、普段の生活では感染しないことや共に生きるための支援について記載している。
208 光文	<p>○導入と学習の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元が、「つかむ」コーナーで習得した知識をもとにして、あてはめよう（思考）見つけよう（判断）伝えよう（表現）で活用する三つのパターンを示している。 ・イラストや図表、写真等を活用して構成し、本文を簡潔にまとめている。 <p>○作業を通した学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年の「けんこうな生活」では、生活時間表やチェック欄、書き込み欄など、作業する欄を取り入れている。 ・5・6年「防災教育」では、「家庭における地震の備え」として、「ファミリーチェック」コーナーを設けている。 <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見を交流させながら学習が進むように、話し合う活動を示すマークを随所に設定している。 ・各単元の最後に、自分の考えを簡潔に記述できる欄を設けている。 	<p>○発展的な学習・・・「はってん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年では、「学校内のけんこうさがし」「新しい生命のたんじょう」「早ね早おき朝ごはん」など、身近な内容を取り上げている。 ・5・6年では、「ストレス」についてその対処の仕方を取り上げている。また、「インターネットの正しい使い方」「熱中症」「新型インフルエンザと予防」「たばこのけむり」「AED」など、今日的な課題を取り上げている。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年では、保健学習の導入として、健康について考えさせた後、「けんこうさがしへ出発」に1ページを使い、保健学習の目的を示している。また、巻末では、「けんこうさがし」の答えを書く欄を設けている。 ・インターネットの正しい使い方や様々なトラブル、フィロタリングについて記載している。 ・各単元の学習内容に関連する「食育」の内容を扱っている。

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
224 学研	<p>○導入と学習の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に「ここで学ぶこと」として課題を示し、次に「？」マークで考えたり、話し合ったり、チェックしたりして課題解決に取り組むようになっている。 ・特に重要な言葉を太字で示している。 <p>○作業を通じた学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年では、身長の伸びを紙テープを使うことにより、簡単な作業で整理できようになっている。 ・5・6年では、気持の伝え方や飲酒喫煙を勧められたときの断り方について、ロールプレイングを通じた学習を取り入れている。 <p>○言語活動の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いや記述、発表などの課題を設定したり、読み物資料(コラム)を掲載したりしている。 ・文章による記述欄を鉛筆マークで示し、教科書に直接書き込み、まとめる形式にしている。
	<p>○発展的な学習・・・「はってん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年の「新しい命」では、体の変化と命の誕生を関連付けて考えるようにしている。 ・5・6年では、「自然災害に備えて」「心肺蘇生とAED」「熱中症」「新型インフルエンザ」「パソコンやタブレットと健康」「医学や保健の分野で世界的に活躍した日本人」「たばこのけむりの中の有害物質の例」など、今日的な課題を取り上げている。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の見開きに、「健康ってどんなこと？」というタイトルや様々な写真を掲載し、「健康についていっしょに考えてみよう」と投げかけ、保健学習への意欲付けとしている。 ・児童の作文などを取り入れ、児童が身近に感じられる資料を掲載している。 ・5・6年の巻末に、個性を尊重し、夢や希望をもって、支え合うことが大切であるというメッセージを示している。

